

<b>検査員評定 報告書(土木)</b>		評 定 者		契約番号	
		検査員氏名印			
				印	
評定項目：施工管理		完了検査のみの場合の評定点			
細 目		重要度	細目評価平均	評価点	合計
施工管理		1/6		A	$E = (A + B + C + D)$
品質管理		1/6		B	
出 来 ば え	出来形 (機能・試験)	3/6		C	
	出来ばえ	1/6		D	
再検査(5点減点)		( )	再検査は、左欄に○を入力 所見欄へ再検査理由を入力		F
<b>検査員評定点</b>		$E \times 30 / 100 + F =$			/30
検査所見欄(及び再検査理由欄)					
複数回(既済部分・中間・完了)検査時の評定点					
検査種類	評価点	施工管理	品質管理	出来ばえ	備 考
	G				
	H				
(参考評価点 = $G \times 0.3 + H \times 0.7$ )					

備考

- 1 評定は主要工種で行う。工種が多い場合主要3工種までの平均点(小数第2位四捨五入)とする。  
なお工種が多く工種間バランスが同程度の場合は、「総合工種」で評定する。
- 2 細目評価平均に重要度を乗じ、それぞれし評価点(小数第2位四捨五入)とする。
- 3 評価点を合計後四捨五入を行い、整数としたものを検査員評定点とする。  
ただし再検査(手直し確認は除く)の場合は、合計から5点減点とする。
- 4 複数回検査した場合は、完了検査後各細目ごと下記算式により最終成績を算出する。  
細目最終成績 =  $((a+c) / (b+d) \times 0.3 + e \times 0.7) \times 30 / 100$  (小数第2位四捨五入)  
a: 既済部分検査評定点 b: 既済部分検査回数 c: 中間検査評定点 d: 中間検査回数 e: 完了検査総合点  
算出された細目ごとの評価点を合計し少数第1位を四捨五入し検査員評定点とする。
- 5 一件の契約で検査が2種別以上にわたる場合は、下記実施細目による。  
「工事成績評定実施細目」

完了検査時の細目評価点及び細目評価平均点				
工種	施工管理	品質管理	出来形	出来ばえ
1 総合工種				
2 仮設工				
3 土工				
4 地盤改良工				
5 コンクリート工				
6 杭基礎工				
7 法留工（石積工・コンクリートブロック積工）				
8 斜面安定工				
9 その他共通事項				
10 街築工事（交通安全施設を含む）				
11 舗装工事（アスファルト舗装）				
12 下水道工事				
13 水道工事				
14 電線共同溝工				
15 公園・植栽工事				
16 開削・内面被覆				
17 塗装工				
18 護岸・しゅんせつ工				
19 舗装工事（セメントコンクリート舗装）				
20 シールド・推進・立坑工事				
21 鋼橋				
22 PC橋				
23 トンネル（NATM）				
24 トンネル（矢板）				
25 落橋防止				
26 光ファイバーケーブル				
工種数				
細目評価平均点				
既済部分検査または中間検査時の細目評価点及び細目評価平均点				
工種	施工管理	品質管理	出来形	出来ばえ
1 総合工種				
2 仮設工				
3 土工				
4 地盤改良工				
5 コンクリート工				
6 杭基礎工				
7 法留工（石積工・コンクリートブロック積工）				
8 斜面安定工				
9 その他共通事項				
10 街築工事（交通安全施設を含む）				
11 舗装工事（アスファルト舗装）				
12 下水道工事				
13 水道工事				
14 電線共同溝工				
15 公園・植栽工事				
16 開削・内面被覆				
17 塗装工				
18 護岸・しゅんせつ工				
19 舗装工事（セメントコンクリート舗装）				
20 シールド・推進・立坑工事				
21 鋼橋				
22 PC橋				
23 トンネル（NATM）				
24 トンネル（矢板）				
25 落橋防止				
26 光ファイバーケーブル				
工種数				
細目評価平均点				

# 検査員工事成績項目別評定表（土木）

工種：総合工種

第8号様式

検査種類		
評定項目	施工管理	
細目	評価対象項目	
<b>① 施工管理</b>	提出書類は整っている。	
	変更及び承諾の処理は、適切に行っている。	
	特記仕様書の規定は守られている。	
	搬入調書の数量は必要量入っている。	
	施工管理記録が整理されている。	
	工事記録写真は、撮影計画のとおり行われ、撮影工種・撮影時期・撮影方法とも適切である。	
	工事記録写真により、各工種の施工過程が確認できる。	
	現場代理人・主任技術者・監理技術者は、契約内容を理解している。	
	施工管理及び記録の整理に創意工夫が見られた。	
	（ <span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 50px; height: 15px;"></span> ）	
<b>細目評価</b>	$( \quad \times 3 + \quad \times 2 + \quad \times 1 ) \div ( \quad \times 3 ) \times 100 = \quad \text{点}$	
<b>② 品質管理</b>	材料の品質規格証明書(ミルシート・検査証明書)は整理されている。	
	品質試験は、頻度・項目とも必要数実施されており、結果は整理されている。	
	品質試験の結果は規格値を満たしている。	
	関連示方書の施工規定は守られている。	
	施工規定の管理について、記録又は写真が整理されている。	
	完成構造物について必要な試験が行われ、結果は規格値を満たしている。	
	使用機器のキャリブレーションは、行われている。	
	品質管理についての工事記録写真が整理されている。	
	品質管理及び記録の整理に創意工夫が見られた。	
	（ <span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 50px; height: 15px;"></span> ）	
<b>細目評価</b>	$( \quad \times 3 + \quad \times 2 + \quad \times 1 ) \div ( \quad \times 3 ) \times 100 = \quad \text{点}$	
<b>③ 出来形</b>	出来高数量は、契約数量を満たしている。	
	出来高数量の算出根拠は、整理されている。	
	出来形の管理は、測定項目・測定頻度とも仕様書の規定を満足している。	
	出来形管理の資料は整理されている。	
	出来形計測値は規格値内である。	
	現地立会計測の結果は、管理資料の数値と整合している。	
	自社の管理基準を設定し、管理をおこなっている。	
	出来形測定の不可視部分は、工事記録写真により確認できる。	
	出来形に関し創意工夫及び熱意が見られた。	
	（ <span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 50px; height: 15px;"></span> ）	
<b>細目評価</b>	$( \quad \times 3 + \quad \times 2 + \quad \times 1 ) \div ( \quad \times 3 ) \times 100 = \quad \text{点}$	
<b>④ 出来ばえ</b>	構造物の形状外観及び通りは良好である。	
	構造物の表面の仕上げは、仕様書の規定どおりに行われている。	
	構造物の表面に、仕様書で規定されている欠陥がない。	
	構造物の表面の仕上げは、丁寧で均一に行われている。	
	隣接構造物との、取付け・すり合わせは良好である。	
	構造物の仕上がりは、使用目的・使用者の安全に配慮されている。	
	構造物の手直しは、丁寧に行われている。	
	目視出来ない部分は、工事記録写真で確認できる。	
	出来ばえに関し、創意工夫及び熱意が見られた。	
	（ <span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 50px; height: 15px;"></span> ）	
<b>細目評価</b>	$( \quad \times 3 + \quad \times 2 + \quad \times 1 ) \div ( \quad \times 3 ) \times 100 = \quad \text{点}$	

- 備考**
- 1 各評価対象項目は、A(良好)、B(普通)及びC(不良)の3段階評価とし、A、B及びCのいずれかを選択する。
  - 2 評価対象項目のうち対象工事の内容に合致しないものは、評価せずに空欄とする。
  - 3 細目評価は、100点満点とし次に掲げる算式により算出する。(小数第2位を四捨五入)  

$$(A\text{評価項目数} \times 3\text{点} + B\text{評価項目数} \times 2\text{点} + C\text{評価項目数} \times 1\text{点}) \div (\text{評価した項目数} \times 3) \times 100$$
  - 4 評価対象項目を追加することが妥当である工事は、項目を追加する。

# 検査員工事成績項目別評定表（土木）

工種：仮設工

第8号様式の2

検査種類		
評定項目	施工管理	
細目	評価	対象項目
<b>① 施工管理</b>		提出書類は整っている。
		変更及び承諾の処理は、適切に行っている。
		特記仕様書の規定は守られている。
		搬入調書の数量は必要量入っている。
		施工管理記録が道路橋示方書等に基づき整理されている。
		工事記録写真は、撮影計画のとおり行われ、撮影工種・撮影時期・撮影方法とも適切である。
		工事記録写真により、各工種の施工過程が確認できる。
		施工方法及び材料は監督員の承諾を受け整理されている。
		現場代理人・主任技術者・監理技術者は、契約内容を理解している。
		施工管理及び記録の整理に創意工夫が見られた。
	( )	
	<b>細目評価</b>	$( \quad \times 3 + \quad \times 2 + \quad \times 1 ) / ( \quad \times 3 ) \times 100 = \quad \text{点}$
<b>② 品質管理</b>		品質管理記録が整理されている。
		品質管理についての工事記録写真が整理されている。
		使用材料の品質規格及び数量は、材料検査書類で確認できる。
		使用材料の品質規格証明書(ミルシート・検査証明書)は、整理されている。
		品質試験は、頻度・項目共実施されており、結果は整理されている。
		品質試験の結果は、規格値をみたしている。
		矢板等の打込みに先行し、支障となる埋設物を確認し、埋め戻しも行っている。
		矢板の打込みは導材を設置するなどして、ぶれ、よじれ等を防止し施工している。
		ウォータージェット併用打設では、打止まりを落錘等で貫入させ落ち着かせている。
		仮設電気設備の設置、維持管理及び撤去は、関係法令の規定に基づき施工されている。
	足場設備の設置は関係法令及び設計図書に基づき施工されている。	
	使用機器のキャリブレーションは、行われている。	
	品質管理及び記録の整理に創意工夫が見られた。	
	( )	
	<b>細目評価</b>	$( \quad \times 3 + \quad \times 2 + \quad \times 1 ) / ( \quad \times 3 ) \times 100 = \quad \text{点}$



# 検査員工事成績項目別評定表（土木）

工種：土工

第8号様式の3

検査種類		
評定項目	施工管理	
細目	評価対象項目	
① 施工管理	提出書類は整っている。	
	変更及び承諾の処理は、適切に行っている。	
	特記仕様書の規定は守られている。	
	搬入調書の数量は必要量入っている。	
	施工管理記録が整理されている。	
	工事記録写真は、撮影計画のとおり行われ、撮影工種・撮影時期・撮影方法とも適切である。	
	工事記録写真により、各工種の施工過程が確認できる。	
	現場代理人・主任技術者・監理技術者は、契約内容を理解している。	
	施工管理及び記録の整理に創意工夫が見られた。	
	( )	
細目評価	$( \quad \times 3 + \quad \times 2 + \quad \times 1 ) \div ( \quad \times 3 ) \times 100 = \quad \text{点}$	
② 品質管理	品質管理記録が整理されている。	
	品質管理についての工事記録写真が整理されている。	
	建設副産物（発生土・廃棄物）の処理に伴う必要書類が提出されている。	
	建設廃棄物（コンクリート塊等）の処理はマニフェストで管理されている。	
	設計図書に示された機械により施工している。	
	施工箇所湧水及び滞水は適切に処理されている。	
	土及び岩の分類の境界を確認し、確認のための資料を整備・保管している。	
	掘削等の勾配は労働安全衛生規則を遵守している。	
	設計図書に示された盛り土の締め固め基準を満足している。	
	盛土・埋め戻し工において一層の仕上がり厚が規定どおり施工されている。	
	盛土工において地盤表面の掻き均し、段切り等の処理がされている。	
	切土工において斜面の挙動を監視しながら施工している。	
	路床盛土の片切り、片盛りの接続部等は適切に処理されている。	
	土砂運搬工では過積載防止を厳守している。	
品質管理及び記録の整理に創意工夫が見られた。		
( )		
細目評価	$( \quad \times 3 + \quad \times 2 + \quad \times 1 ) \div ( \quad \times 3 ) \times 100 = \quad \text{点}$	



# 検査員工事成績項目別評定表（土木）

工種：土工

第8号様式の3

検査種類	
評定項目	施工管理
細目	評価対象項目
<b>③ 出来形</b>	出来高数量は、契約数量を満たしている。
	出来高数量の算出根拠は、整理されている。
	出来形の管理は、測定項目・測定頻度とも仕様書の規定を満足している。
	出来形管理の資料は整理されている。
	出来形計測値は規格値内である。
	現地立会計測の結果、管理資料と整合している。
	出来高は土量の変化率を考慮し算出している。
	土砂運搬の記録は伝票処理されている。または、整形し出来高を算出している。
	出来形に関し創意工夫及び熱意が見られた。
	( )
<b>細目評価</b>	$( \quad \times 3 + \quad \times 2 + \quad \times 1 ) \div ( \quad \times 3 ) \times 100 = \quad \text{点}$
<b>④ 出来ばえ</b>	法肩、法尻線は通っており丁寧に仕上げられている。
	法面はバケットにより丁寧に仕上げられている。
	床掘面については地山の乱れはなく丁寧に仕上げている。
	切土面に浮き石は除去され、掘削機の爪痕は残っていない。
	切土法面と周辺自然斜面とはラウンディングによりなじみよく仕上げている。
	切土法面の切りすぎや切り不足がない。
	盛土箇所の地盤表面の処理(伐根・除草など)が丁寧に行われている。
	盛土地盤は余盛され水勾配が考慮されている。
	盛土法面に水のにじみ出しやクラックが発生していない。
	埋戻しに適さない石、不良土、木くず等は丁寧に排除されている。
	埋戻し部分に陥没、表面のクラック等が発生していない。
	切土、盛土にあたって既設構造物への影響を考慮し施工している。
	構造物周辺等、狭小部の転圧は十分に行われている。
	路床盛土は、ブルフローリング等で確認され不良箇所は手直しされている。
出来ばえに関し、創意工夫及び熱意が見られた。	
( )	
<b>細目評価</b>	$( \quad \times 3 + \quad \times 2 + \quad \times 1 ) \div ( \quad \times 3 ) \times 100 = \quad \text{点}$

- 備考**
- 1 各評価対象項目は、A(良好)、B(普通)及びC(不良)の3段階評価とし、A、B及びCのいずれかを選択する。
  - 2 評価対象項目のうち対象工事の内容に合致しないものは、評価せずに空欄とする。
  - 3 細目評価は、100点満点とし次に掲げる算式により算出する。(小数第2位を四捨五入)  
 $(A \text{ 評価項目数} \times 3 \text{ 点} + B \text{ 評価項目数} \times 2 \text{ 点} + C \text{ 評価項目数} \times 1 \text{ 点}) \div (\text{評価した項目数} \times 3) \times 100$
  - 4 評価対象項目を追加することが妥当である工事は、項目を追加する。

# 検査員工事成績項目別評定表（土木）

工種：地盤改良工

第8号様式の4

検査種類		
評定項目	施工管理	
細目	評価	対象項目
<b>① 施工管理</b>		提出書類は整っている。
		変更及び承諾の処理は、適切に行っている。
		特記仕様書の規定は守られている。
		搬入調書の数量は必要量入っている。
		施工管理記録が整理されている。
		工事記録写真は、撮影計画のとおり行われ、撮影工種・撮影時期・撮影方法とも適切である。
		工事記録写真により、各工種の施工過程が確認できる。
		施工方法及び材料は監督員の承諾を受け整理されている。
		現場代理人・主任技術者・監理技術者は、契約内容を理解している。
		施工管理及び記録の整理に創意工夫が見られた。
	( )	
	<b>細目評価</b>	$( \quad \times 3 + \quad \times 2 + \quad \times 1 ) \div ( \quad \times 3 ) \times 100 = \quad \text{点}$
<b>② 品質管理</b>		品質管理記録が整理されている。
		品質管理についての工事記録写真が整理されている。
		改良材品質及び配合量は、事前配合試験の結果と整合している。
		使用機器のキャリブレーションは、行われている。
		深層混合処理・噴射攪拌工では、スラリーの品質管理が行われている。
		砂杭では、砂の粒度試験が行われ、細粒分含有率が許容値以下である。
		チェックボーリングは指定位置で行われ、試験強度(圧縮強度・N値等)は指定値を上回っている。
		施工記録(杭頭・杭先端・注入量・引上速度・吐出圧等)は、整理されている。
		高圧噴射杭の杭径条件(土質Cφ・引上速度・吐出圧)は、承諾条件と整合している。
		事前ボーリングの結果は整理され、想定地盤と整合していることが確認されている。
	品質管理及び記録の整理に創意工夫が見られた	
	( )	
	<b>細目評価</b>	$( \quad \times 3 + \quad \times 2 + \quad \times 1 ) \div ( \quad \times 3 ) \times 100 = \quad \text{点}$



# 検査員工事成績項目別評定表（土木）

工種：地盤改良工

第8号様式の4

検査種類		
評定項目	施工管理	
細目	評価対象項目	
③ 出来形	杭本数・杭径・杭長は、契約内容の数量を満足している。	
	出来高数量の算出根拠は、整理されている。	
	出来形の管理は、測定項目・測定頻度とも仕様書の規定を満足している。	
	出来形管理の資料は整理されている。	
	杭伏図及び施工記録表で、杭番号・施工日・杭長が確認できる。	
	杭天端高さ及び杭先端高さの計測値は、規格値以内である。	
	杭位置及び杭間隔の計測値は、規格値以内である。	
	杭径の計測値は、規格値以内である。	
	チェックボーリング結果から、固化範囲（杭頭・杭端・固化長）が確認されている。	
	地盤の盛り量は、計測監理されている。	
	自社の管理基準を設定し、管理をおこなっている。	
	出来形測定の不可視部分は、工事記録写真により確認できる。	
	現地立会計測の結果は、管理資料の数値と整合している。	
	出来形に関し創意工夫及び熱意が見られた。	
( )		
細目評価 (     × 3 +     × 2 +     × 1 ) / (     × 3 ) × 100 =     点		
④ 出来ばえ	杭伏図及び施工記録表で、杭番号・施工日が確認できる。	
	工事記録写真及び記録から杭天端高さ及び杭先端高さが確認できる。	
	工事記録写真及び記録から杭打設位値の管理状況が確認できる。	
	不可視部分は、工事記録写真により確認できる。	
	現地立会計測の結果は、管理資料の数値と小差で整合している。	
	出来ばえに関し、創意工夫及び熱意が見られた。	
	( )	
細目評価 (     × 3 +     × 2 +     × 1 ) / (     × 3 ) × 100 =     点		

- 備考
- 1 各評価対象項目は、A(良好)、B(普通)及びC(不良)の3段階評価とし、A、B及びCのいずれかを選択する。
  - 2 評価対象項目のうち対象工事の内容に合致しないものは、評価せずに空欄とする。
  - 3 細目評価は、100点満点とし次に掲げる算式により算出する。(小数第2位を四捨五入)  
 $(A \text{ 評価項目数} \times 3 \text{ 点} + B \text{ 評価項目数} \times 2 \text{ 点} + C \text{ 評価項目数} \times 1 \text{ 点}) / (\text{評価した項目数} \times 3) \times 100$
  - 4 評価対象項目を追加することが妥当である工事は、項目を追加する。

# 検査員工事成績項目別評定表（土木）

工種：コンクリート工

第8号様式の5

検査種類		
評定項目	施工管理	
細目	評価	対象項目
<b>① 施工管理</b>		提出書類は整っている。
		コンクリートの打設計画書、配合報告書は事前に提出されている。
		工法、材料及び数量の変更処理は適切に行っている。
		特記仕様書の規定は守られている。
		搬入打設報告書により、数量、発車時刻、打設完了時刻が確認できる。
		施工管理記録が整理されている。
		工事記録写真は、撮影計画のとおり行われ、撮影工種・撮影時期・撮影方法とも適切である。
		工事記録写真により、各工種の施工過程が確認できる。
		現場代理人・主任技術者・監理技術者は、契約内容を理解している。
		施工管理及び記録の整理に創意工夫が見られた。
		( )
	<b>細目評価</b>	$( \quad \times 3 + \quad \times 2 + \quad \times 1 ) \div ( \quad \times 3 ) \times 100 = \quad \text{点}$
<b>② 品質管理</b>		仕様書等で定められている品質管理が、頻度・種類とも実施されている。
		品質管理についての工事記録写真が整理されている。
		材料の品質規格証明書が整備されている。
		型枠、支保工の取り外し時期について管理されている。
		鉄筋の本数、配筋間隔、配置位置が図面とおりに施工されている。
		鉄筋の加工形状、継手部が仕様書等に定められた通り施工されている。
		耐震設計上の配筋規定(帯筋・中間帯鉄筋等)は守られている。
		スペーサーを適切に配置し、鉄筋のかぶりを確保している。
		コンクリートの圧縮試験は、公的機関で行われている。
		気象条件に適した(寒中・暑中を含む)、運搬、打設、締固めを行っている。
		コンクリート打継ぎ部の処理は、仕様書等の規定どおり実施されている。
		コンクリートの現場養生は、方法・期間とも仕様書等の規定どおり実施されている。
		コンクリートの打設区画割り(水平・垂直)は、仕様書等の規定どおり実施されている。
		特殊コンクリートの施工にあたって、施工条件を遵守している。
	品質管理及び記録の整理に創意工夫が見られた。	
	( )	
	<b>細目評価</b>	$( \quad \times 3 + \quad \times 2 + \quad \times 1 ) \div ( \quad \times 3 ) \times 100 = \quad \text{点}$

## 検査員工事成績項目別評定表（土木）

工種：コンクリート工

第8号様式の5

検査種類		
評定項目	施工管理	
細目	評価対象項目	
③ 出来形	出来高数量は、契約数量を満たしている。	
	出来高数量の算出根拠は、整理されている。	
	出来形の管理は、測定項目・測定頻度とも仕様書の規定を満足している。	
	出来形管理の資料は整理されている。	
	出来形計測値は規格値内である。	
	現地立会計測の結果は、管理資料の数値と整合している。	
	自社の管理基準を設定し、管理をおこなっている。	
	出来形測定の不可視部分は、工事記録写真により確認できる。	
	出来形に関し創意工夫及び熱意が見られた。	
	( )	
細目評価	(   × 3 +   × 2 +   × 1 ) / (   × 3 ) × 100 =   点	
④ 出来ばえ	コンクリート構造物の通りがよい。	
	天端仕上げ、端部仕上げ等がよい。	
	コンクリート構造物の表面にジャンカ、アバタ等の欠陥がない。	
	クラックがない。	
	コールドジョイントがない。	
	型枠の目違いがない。	
	面取りの忘れがない。	
	コンクリート表面に、クギ・番線等が残っていない。	
	セバ穴の埋め忘れ、詰めモルタルの浮き上がりがない。	
	漏水がない。	
コンクリート表面は、平滑で良く締め固められている。		
コンクリート面の手直しは、ていねいに行われている。		
目視出来ない部分は、工事記録写真で確認できる。		
出来ばえに関し、創意工夫及び熱意が見られた。		
( )		
細目評価	(   × 3 +   × 2 +   × 1 ) / (   × 3 ) × 100 =   点	

- 備考**
- 1 各評価対象項目は、A(良好)、B(普通)及びC(不良)の3段階評価とし、A、B及びCのいずれかを選択する。
  - 2 評価対象項目のうち対象工事の内容に合致しないものは、評価せずに空欄とする。
  - 3 細目評価は、100点満点とし次に掲げる算式により算出する。(小数第2位を四捨五入)  

$$(A\text{評価項目数} \times 3\text{点} + B\text{評価項目数} \times 2\text{点} + C\text{評価項目数} \times 1\text{点}) / (\text{評価した項目数} \times 3) \times 100$$
  - 4 評価対象項目を追加することが妥当である工事は、項目を追加する。

# 検査員工事成績項目別評定表（土木）

工種：杭基礎工

第8号様式の6

検査種類		
評定項目	施工管理	
細目	評価	対象項目
<b>① 施工管理</b>		提出書類は整っている。
		変更及び承諾の処理は、適切に行っている。
		搬入調書の数量は必要量入っている。
		特記仕様書の規定は守られている。
		施工管理記録が道路橋示方書等に基づき整理されている。
		工事記録写真は、撮影計画のとおり行われ、撮影工種・撮影時期・撮影方法とも適切である。
		工事記録写真により、各工種の施工過程が確認できる。
		施工方法及び材料は監督員の承諾を受け整理されている。
		現場代理人・主任技術者・監理技術者は、契約内容を理解している。
		施工管理及び記録の整理に創意工夫が見られた。
	( )	
	<b>細目評価</b>	$( \quad \times 3 + \quad \times 2 + \quad \times 1 ) / ( \quad \times 3 ) \times 100 = \quad \text{点}$
<b>② 品質管理</b>		品質管理記録が整理されている。
		品質管理についての工事記録写真が整理されている。
		材料の品質規格を証明する、ミルシート・配合承諾書・製作承諾書等は整理されている。
		支持層高・支持層への根入長は、規定の数値を満たしている。
		品質管理試験(中掘り工法は水セメント比試験、場所打杭はコンクリート)結果は、合格である。
		コンクリートの品質(強度・単位セメント量・水セメント比・スランプ等)は、契約書の品質と整合している。
		既製杭の現場溶接記録(杭軸のずれ・溶接条件・検査結果等)は、整理されている。
		溶接継手の試験(RT・UT・PT)は、有資格者により規定頻度行われ、結果は合格である。
		中掘杭の先端処理は、適切(攪拌位置・噴出圧・噴出量等)に行われ、施工記録も整理されている。
		杭頭処理(埋込長・帯筋ピッチ・内部コン・杭頭筋溶接仕様等)は、示方書の規定どおりに行われている。
		場所打杭の鉄筋かごは、主筋・帯筋とも契約図面のとおり製作されている。
		鉄筋かごのスペーサーは、規定どおり(3~5mごとに4~6個)設置されている。
		コンクリートの打設は、トレミー管を常時コンクリートに2m以上挿入して、規定時間以内に終了している。
		コンクリートの打設記録、搬入伝票、試験成績は整理されている。
		孔内水位、安定液の管理は行われている。
		杭底検尺は、測定値が確認できるか、又は監督員の立会いで行われている。
		コンクリートの打設前に、スライム処理が行われている。
		オールケーシング工法以外のときは、オシログラフの記録が整理されている。
		杭頭余裕コンクリートは50cm以上あり、高さは一定である。
		工事記録写真により施工過程が確認できる。
	品質管理及び記録の整理に創意工夫が見られた。	
	( )	
	<b>細目評価</b>	$( \quad \times 3 + \quad \times 2 + \quad \times 1 ) / ( \quad \times 3 ) \times 100 = \quad \text{点}$

# 検査員工事成績項目別評定表（土木）

工種：杭基礎工

第8号様式の6

検査種類		
評定項目	施工管理	
細目	評価	対象項目
<b>③ 出来形</b>		出来高数量は、契約数量を満たしている。
		出来高数量の算出根拠は、整理されている。
		出来形の管理は、測定項目・測定頻度とも仕様書の規定を満足している。
		出来形管理の資料は整理されている。
		杭頭高さの計測値は、規格値内である。
		杭頭変位の計測値は、規格値内である。
		杭径の計測値は規格値を満足している。
		鉛直度の計測値は規格値内である。
		現地立会計測の結果は、管理資料の数値と整合している。
		自社の管理基準を設定し、管理をおこなっている。
		出来形測定の不可視部分は、工事記録写真により確認できる。
		出来形に関し創意工夫及び熱意が見られた。
	( )	
	細目評価 (    × 3 +    × 2 +    × 1 ) / (    × 3 ) × 100 =    点	
<b>④ 出来ばえ</b>		杭の通りは良好である。
		既製杭頭部にわれ、ゆがみ等の欠陥がない。
		既製杭の杭頭処理は、丁寧に仕上げられている。
		場所打杭の杭頭仕上げ、及び既製杭の杭頭面は良好である。
		場所打杭のはつり部に亀裂等の欠陥がない。
		場所打杭の鉄筋かぶりは、設計図の数値を確保している。
		場所打杭の鉄筋ピッチ・高さ等は正確である。
		場所打杭の真円性は、良好である。
		場所打杭のコンクリート面は、密実で良好である。
		場所打ち杭の頭部筋に曲がり等欠陥がない。
		手直しは丁寧にされている。
		施工管理記録・工事記録写真から、不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。
	出来ばえに関し、創意工夫及び熱意が見られた。	
	( )	
	細目評価 (    × 3 +    × 2 +    × 1 ) / (    × 3 ) × 100 =    点	

- 備考**
- 1 各評価対象項目は、A(良好)、B(普通)及びC(不良)の3段階評価とし、A、B及びCのいずれかを選択する。
  - 2 評価対象項目のうち対象工事の内容に合致しないものは、評価せずに空欄とする。
  - 3 細目評価は、100点満点とし次に掲げる算式により算出する。(小数第2位を四捨五入)  

$$(A\text{評価項目数} \times 3\text{点} + B\text{評価項目数} \times 2\text{点} + C\text{評価項目数} \times 1\text{点}) / (\text{評価した項目数} \times 3) \times 100$$
  - 4 評価対象項目を追加することが妥当である工事は、項目を追加する。

## 検査員工事成績項目別評定表（土木）

工種：法留工（石積工・コンクリートブロック積工）

第8号様式の7

検査種類		
評定項目	施工管理	
細目	評価	対象項目
<b>① 施工管理</b>		提出書類は整っている。
		変更及び承諾の処理は、適切に行っている。
		特記仕様書の規定は守られている。
		搬入調書の数量は必要量入っている。
		施工管理記録が整理されている。
		工事記録写真は、撮影計画のとおり行われ、撮影工種・撮影時期・撮影方法とも適切である。
		工事記録写真により、各工種の施工過程が確認できる。
		現場代理人・主任技術者・監理技術者は、契約内容を理解している。
		施工管理及び記録の整理に創意工夫が見られた。
		( )
	<b>細目評価</b> (      × 3 +      × 2 +      × 1 ) / (      × 3 ) × 100 =      点	
<b>② 品質管理</b>		品質管理記録が整理されている。
		品質管理についての工事記録写真が整理されている。
		石またはブロックに付着したごみ、泥等の汚物を取り除き施工している。
		谷積み、または図書どおり施工されている。
		水抜管は図面どおり施工され、勾配も規定どおり確保されている。
		丁張は前面及び裏埋め背面に設置し、施工されている。
		裏埋めは突き固めながら積み上げている。
		コンクリートの打設は規定どおり施工され、報告書等も整理されていた。
		コンクリートの養生は十分におこなわれている。
		コンクリート打継処理は泥、レイトンス等を除去している。
	伸縮目地は的確な位置に施工されている。	
	品質管理及び記録の整理に創意工夫が見られた。	
	( )	
	<b>細目評価</b> (      × 3 +      × 2 +      × 1 ) / (      × 3 ) × 100 =      点	

## 検査員工事成績項目別評定表（土木）

工種：法留工（石積工・コンクリートブロック積工）

第8号様式の7

検査種類		
評定項目	施工管理	
細目	評価対象項目	
<b>③ 出来形</b>		出来高数量は、契約数量を満たしている。
		出来高数量の算出根拠は、整理されている。
		出来形の管理は、測定項目・測定頻度とも仕様書の規定を満足している。
		出来形管理の資料は整理されている。
		出来形計測値は規格値内である。
		現地立会計測の結果は、管理資料の数値と整合している。
		水抜管は規定の勾配が確保されていた。
		自社の管理基準を設定し、管理をおこなっている。
		出来形測定の不可視部分は、工事記録写真により確認できる。
		出来形に関し創意工夫及び熱意が見られた。
	（ <span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 150px; height: 1.2em; vertical-align: middle;"></span> ）	
	<b>細目評価</b>	$( \text{ } \times 3 + \text{ } \times 2 + \text{ } \times 1 ) \div ( \text{ } \times 3 ) \times 100 = \text{ } \text{点}$
<b>④ 出来ばえ</b>		施工は丁寧で構造物の通りがよい。
		天端及び端部等の仕上げがよい。
		既設構造物とのすりつけがよい。
		構造物にクラック等の欠陥がなく全体的な美観がよい。
		構造物の表面等の手直しは、ていねいに行われている。
		水抜管等の端部は、ていねいに仕上げられていた。
		目地板は丁寧に切り揃えられていた。
		目視出来ない部分は、工事記録写真で確認できる。
		出来ばえに関し、創意工夫及び熱意が見られた。
		（ <span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 150px; height: 1.2em; vertical-align: middle;"></span> ）
	<b>細目評価</b>	$( \text{ } \times 3 + \text{ } \times 2 + \text{ } \times 1 ) \div ( \text{ } \times 3 ) \times 100 = \text{ } \text{点}$

- 備考**
- 1 各評価対象項目は、A(良好)、B(普通)及びC(不良)の3段階評価とし、A、B及びCのいずれかを選択する。
  - 2 評価対象項目のうち対象工事の内容に合致しないものは、評価せずに空欄とする。
  - 3 細目評価は、100点満点とし次に掲げる算式により算出する。(小数第2位を四捨五入)  
 $(A \text{ 評価項目数} \times 3 \text{ 点} + B \text{ 評価項目数} \times 2 \text{ 点} + C \text{ 評価項目数} \times 1 \text{ 点}) \div (\text{評価した項目数} \times 3) \times 100$
  - 4 評価対象項目を追加することが妥当である工事は、項目を追加する。



## 検査員工事成績項目別評定表（土木）

工種：斜面安定工

第8号様式の8

検査種類	
評定項目	施工管理
細目	評価対象項目
<b>① 施工管理</b>	提出書類は整っている。
	変更及び承諾の処理は、適切に行っている。
	特記仕様書の規定は守られている。
	搬入調書の数量は必要量入っている。
	施工管理記録が整理されている。
	工事記録写真は、撮影計画のとおり行われ、撮影工種・撮影時期・撮影方法とも適切である。
	工事記録写真により、各工種の施工過程が確認できる。
	現場代理人・主任技術者・監理技術者は、契約内容を理解している。
	施工管理及び記録の整理に創意工夫が見られた。
	( )
<b>細目評価</b>	(      × 3 +      × 2 +      × 1 ) / (      × 3 ) × 100 =      点
<b>② 品質管理</b>	品質管理記録が整理されている。
	品質管理についての工事記録写真が整理されている。
	材料の品質規格及び数量は、材料検査書類で確認できる。
	品質試験は、頻度・項目共実施されており、整理されている。
	品質試験の結果は、規格値を満たしている。
	施工基面の清掃・仕上げは、仕様書の規定どおり行われている。
	使用機器のキャリブレーションは、行われている。
	セメント吹付け工の鉄網は、下被り・固定・重ね長とも管理されている。
	セメント吹付け工の管理は、吹付角度・距離・圧力・跳返り材の処理・検測ピン設置とも、管理されている。
	吹付け法砕工の枠は、割付け寸法・組立順序・法への固定・下地吹付け等、管理されている。
	吹付け法砕工の鉄筋の施工規定は、継手の位置・上下重ね等、管理されている。
	吹付け法砕工の施工規定は、吹付け距離・跳返り材の処理・養生等、管理されている。
	吹き付け法砕工の試験コアは、示方書の規定どおりに作成されている。
	アンカー削孔の施工規定は、地山適性・削孔水質・洗浄とも管理されている。
	アンカーの定着地盤は、削孔速度・トルク・スライム等で、確認されている。
	アンカーの緊張定着について、初期緊張力・セットロス・定着緊張力等の管理が行われている。
	適性試験・確認試験は、本数・方法とも適切で、結果はばらつきが少なく、全て規格値を満たしている。
	工事記録写真で、施工過程が確認できる。
	品質管理及び記録の整理に創意工夫が見られた。
( )	
<b>細目評価</b>	(      × 3 +      × 2 +      × 1 ) / (      × 3 ) × 100 =      点

# 検査員工事成績項目別評定表（土木）

工種：斜面安定工

第8号様式の8

検査種類	
評定項目	施工管理
細目	評価対象項目
③ 出来形	出来高数量は、契約数量を満たしている。
	出来高数量の算出根拠は、整理されている。
	出来形の管理は、測定項目・測定頻度とも仕様書の規定を満足している。
	出来形管理の資料は整理されている。
	出来形計測値は規格値内である。
	現地立会計測の結果は、管理資料の数値と整合している。
	自社の管理基準を設定し、管理をおこなっている。
	出来形測定の不可視部分は、工事記録写真により確認できる。
	出来形に関し創意工夫及び熱意が見られた。
	( )
細目評価	( × 3 + × 2 + × 1 ) / ( × 3 ) × 100 = 点
④ 出来ばえ	法枠等の施工は丁寧で、通りも良好である。
	端部のすりつけ処理等は良好である。
	吹付け材料は、均等に吹付けられている。
	吹付け材料の跳返りは、丁寧に処理されている。
	吹付け材料の剥がれや隙間等はなかった。
	施工表面に漏水等がなかった。
	コンクリート・モルタル表面に、ひび・ジャンカ等の欠陥がない。
	縦枠に吹付け継手がなかった。
	水抜きパイプ等の端部は丁寧に仕上げられていた。
	厚さ確認孔の埋戻しは、丁寧に行われていた。
	欠陥の手直しは丁寧にされていた。
	目視出来ない部分は、工事記録写真で確認できる。
	出来ばえに関し、創意工夫及び熱意が見られた。
細目評価	( × 3 + × 2 + × 1 ) / ( × 3 ) × 100 = 点

- 備考
- 各評価対象項目は、A(良好)、B(普通)及びC(不良)の3段階評価とし、A、B及びCのいずれかを選択する。
  - 評価対象項目のうち対象工事の内容に合致しないものは、評価せずに空欄とする。
  - 細目評価は、100点満点とし次に掲げる算式により算出する。(小数第2位を四捨五入)  
 $(A \text{ 評価項目数} \times 3 \text{ 点} + B \text{ 評価項目数} \times 2 \text{ 点} + C \text{ 評価項目数} \times 1 \text{ 点}) / (\text{評価した項目数} \times 3) \times 100$
  - 評価対象項目を追加することが妥当である工事は、項目を追加する。

## 検査員工事成績項目別評定表（土木）

工種：その他共通事項

第8号様式の9

検査種類		
評定項目	施工管理	
細目	評価	対象項目
<b>① 施工管理</b>		提出書類は整っている。
		変更及び承諾の処理は、適切に行っている。
		特記仕様書の規定は守られている。
		搬入調書の数量は必要量入っている。
		施工管理記録が整理されている。
		工事記録写真は、撮影計画のとおり行われ、撮影工種・撮影時期・撮影方法とも適切である。
		工事記録写真により、各工種の施工過程が確認できる。
		現場代理人・主任技術者・監理技術者は、契約内容を理解している。
		施工管理及び記録の整理に創意工夫が見られた。
		( )
	<b>細目評価</b>	(    × 3 +    × 2 +    × 1 ) / (    × 3 ) × 100 =    点
<b>② 品質管理</b>		品質管理記録が整理されている。
		品質管理についての工事記録写真が整理されている。
		使用材料の品質規格及び数量は、材料検査書類で確認できる。
		使用材料の品質規格証明書(ミルシート・検査証明書)は、整理されている。
		品質試験は、頻度・項目共実施されており、結果は整理されている。
		品質試験の結果は、規格値を満たしている。
		矢板の施工規定は守られている。
		吹付けは、法面の処理、補強用鉄鋼の設置・跳ね返り材料の除去が行われている。
		植生工の施工規定は、守られている。
		使用機器のキャリブレーションは、行われている。
	品質管理及び記録の整理に創意工夫が見られた。	
	( )	
	<b>細目評価</b>	(    × 3 +    × 2 +    × 1 ) / (    × 3 ) × 100 =    点

# 検査員工事成績項目別評定表（土木）

工種：その他共通事項

第8号様式の9

検査種類		
評定項目	施工管理	
細目	評価対象項目	
<b>③ 出来形</b>	出来高数量は、契約数量を満たしている。	
	出来高数量の算出根拠は、整理されている。	
	出来形の管理は、測定項目・測定頻度とも仕様書の規定を満足している。	
	出来形管理の資料は整理されている。	
	出来形計測値は規格値内である。	
	現地立会計測の結果は、管理資料の数値と整合している。	
	自社の管理基準を設定し、管理をおこなっている。	
	出来形測定の不可視部分は、工事記録写真により確認できる。	
	出来形に関し創意工夫及び熱意が見られた。	
	( )	
<b>細目評価</b>	(    × 3 +    × 2 +    × 1 ) / (    × 3 ) × 100 =    点	
<b>④ 出来ばえ</b>	施工は丁寧で構造物の通りが良い。	
	構造物の仕上げは、丁寧に均一に行われている。	
	構造物にクラック等の欠陥がなく全体的な美観がよい。	
	既設構造物との取付け・すり合わせが良い。	
	構造物の手直しは、丁寧に行われている。	
	吹付工の伸縮目地、水抜き工は丁寧に仕上げられている。	
	法肩の吹付けは、雨水が浸透しないように、地山に沿って巻き込んで施工してある。	
	張芝及び筋芝の法肩は、耳芝が丁寧に仕上げられている。	
	張り芝は、所定の芝できちんと丁寧に打ち固めしてある。	
	植生工は、枯死又は発芽不良個所がなく全体的に美観がよい。	
	植生の吹き付け施工完了後は、発芽又は枯死予防のため保護養生が丁寧に行われている。	
	植生ネットは、ネット境界に隙間がなく破損がない。	
	種子帯は、切断なくかつ帯間隔も一定で整然と施工されている。	
	目視出来ない部分は、工事記録写真で確認できる。	
出来ばえに関し、創意工夫及び熱意が見られた。		
( )		
<b>細目評価</b>	(    × 3 +    × 2 +    × 1 ) / (    × 3 ) × 100 =    点	

- 備考**
- 1 各評価対象項目は、A(良好)、B(普通)及びC(不良)の3段階評価とし、A、B及びCのいずれかを選択する。
  - 2 評価対象項目のうち対象工事の内容に合致しないものは、評価せずに空欄とする。
  - 3 細目評価は、100点満点とし次に掲げる算式により算出する。(小数第2位を四捨五入)  

$$(A\text{評価項目数} \times 3\text{点} + B\text{評価項目数} \times 2\text{点} + C\text{評価項目数} \times 1\text{点}) / (\text{評価した項目数} \times 3) \times 100$$
  - 4 評価対象項目を追加することが妥当である工事は、項目を追加する。

# 検査員工事成績項目別評定表（土木）

工種：街築工事（交通安全施設を含む）

第8号様式の10

検査種類		
評定項目	施工管理	
細目	評価対象項目	
<b>① 施工管理</b>	提出書類は整っている。	
	変更及び承諾の処理は、適切に行っている。	
	特記仕様書の規定は守られている。	
	搬入調書の数量は必要量入っている。	
	施工管理記録が整理されている。	
	施工管理の工事記録写真が整理されている。	
	場所打ちコンクリート側溝の施工順序は監督員の承諾を得ている。	
	現場代理人・主任技術者・監理技術者は、契約内容を理解している。	
	施工管理及び記録の整理に創意工夫が見られた。	
	( )	
<b>細目評価</b>	(    × 3 +    × 2 +    × 1 ) / (    × 3 ) × 100 =    点	
<b>② 品質管理</b>	品質管理記録が整理されている。	
	品質管理についての工事記録写真が整理されている。	
	コンクリート打設日報等、日々管理を行っている。	
	監督員立会の上、接地抵抗、絶縁抵抗、及び塗膜厚測定を行っている。	
	路面標示工の施工に当たって、気温が5℃以下の時は路面を予熱している。	
	常温ペイント式に用いる希釈剤の使用量はペイントの10%以下になっている。	
	品質管理及び記録の整理に創意工夫が見られた	
	( )	
	<b>細目評価</b>	(    × 3 +    × 2 +    × 1 ) / (    × 3 ) × 100 =    点
	<b>③ 出来形</b>	契約内容に対応した出来高数量がある。
出来高及び出来形の管理は、測定項目・測定頻度とも仕様書の規定を満足している。		
出来高及び出来形管理の資料は、分かり易く整理されている。		
延長、幅、高さ、及び基準高は規格以内に施工されている。		
ソケット付き管の布設は、上流側、又は高い側にソケットが向いている。		
砂基礎、及び管回りの遮断層用砂は15cm毎に締め固めてある。		
ちり除け金物には防錆塗料が塗布されている。		
街きよ裏側基礎の寸法、及びブロックの呑み込み寸法は正しく仕上がっている。		
柵の間隔が10m以上ある街きよは、柵間中央部のブロックの継ぎ目に合わせて施工目地が設けられている。		
建築限界は確保されている。		
工事起終点の防護柵端部支柱の歩道側に必要事項が標示されている。		
路面標示の施工幅は均一にして凹凸のないように施工されている。		
道路照明工の独立柱に接地工を施してある。		
照明柱の基礎コンクリートは1回打ちにしている。		
工事起終点にネームプレートは設置されている。		
標識等の支柱に標示シートがついている。		
出来形測定の不可視部分は、工事記録写真により確認できる。		
現地立会計測の結果は、管理資料の数値と小差で整合している。		
出来形に関し創意工夫及び熱意が見られた。		
( )		
<b>細目評価</b>	(    × 3 +    × 2 +    × 1 ) / (    × 3 ) × 100 =    点	

# 検査員工事成績項目別評定表（土木）

工種：街築工事（交通安全施設を含む）

第8号様式の10

検査種類	
評定項目	施工管理
細目	評価対象項目
<b>④ 出来ばえ</b>	管きよ、街きよ、緑石、防護柵の通りは正確に仕上がっている。
	管の切断、又はせん孔箇所には損傷はない。
	管の継ぎ目に漏水はない。
	管の継ぎ手にモルタルが十分に充てんされ、モルタルが管の内面に出していない。
	管きよの埋め戻しは、管きよに偏心、及び偏圧のないよう左右均等に締め固めている。
	入孔、及び枡の側塊の目地から漏水がない。
	入孔、及び枡の蓋は路面にならい、なじみよく据え付けられている。
	街きよの目地モルタルは充分充填され、かつ突端部は面ゴテ仕上げになっている。
	街きよ、側溝の流水面に滞水はない。
	緑石の目地モルタルは充分充てんされている。
	緑石等の曲線部基礎コンクリートは、曲線にならって施工されている。
	緑石等の曲線部と直線部の境界部はなじみよく施工されている。
	コンクリートブロックは曲線部と直線部の境界部が目地になっている。
	ガードレールのビームの取り付けは自動車進行方向に対してビーム端の断面が見えないように重ね合わせてある。
	支柱に取り付けるボルトはナットが車道側で締め付けてある。
	標識板等の向き、角度、表示板と支柱の通り、傾斜等は適正である。
	路面標示工の施工に当たって、施工路面の水分、泥、砂塵等を取り除いてある。
	端部処理は良好である。
	構造物へのすりつけ等は良好である。
	全体的な仕上がり・外観、おさまり具合は良好である。
目視出来ない部分は、工事記録写真で確認できる。	
出来ばえに関し、創意工夫及び熱意が見られた。	
( )	
<b>細目評価</b>	$( \quad \times 3 + \quad \times 2 + \quad \times 1 ) \div ( \quad \times 3 ) \times 100 = \quad \text{点}$

- 備考**
- 1 各評価対象項目は、A(良好)、B(普通)及びC(不良)の3段階評価とし、A、B及びCのいずれかを選択する。
  - 2 評価対象項目のうち対象工事の内容に合致しないものは、評価せずに空欄とする。
  - 3 細目評価は、100点満点とし次に掲げる算式により算出する。(小数第2位を四捨五入)  
 $(A \text{ 評価項目数} \times 3 \text{ 点} + B \text{ 評価項目数} \times 2 \text{ 点} + C \text{ 評価項目数} \times 1 \text{ 点}) \div (\text{評価した項目数} \times 3) \times 100$
  - 4 評価対象項目を追加することが妥当である工事は、項目を追加する。



# 検査員工事成績項目別評定表（土木）

工種：舗装工事（アスファルト舗装）

第8号様式の11

検査種類		
評定項目	施工管理	
細目	評価	対象項目
<b>① 施工管理</b>		提出書類は整っている。
		変更及び承諾の処理は、適切に行っている。
		特記仕様書の規定は守られている。
		搬入調書の数量は必要量入っている。
		施工管理記録が整理されている。
		施工管理の工事記録写真が整理されている。
		施工継ぎ目の構造は監督員の承諾を受けている。
		施工方法及び材料は監督員の承諾を受け整理されている。
		樹脂系すべり止め舗装工の施工条件、施工方法、滑り抵抗の測定方法等について監督員の承諾を受けている
		施工管理及び記録の整理に創意工夫が見られた。
	( )	
	<b>細目評価</b>	$( \quad \times 3 + \quad \times 2 + \quad \times 1 ) \div ( \quad \times 3 ) \times 100 = \quad \text{点}$
<b>② 品質管理</b>		品質管理記録が整理されている。
		品質管理についての工事記録写真が整理されている。
		基準密度は監督員の承諾を受けている。
		締め固め終了後のブルーフローリング結果は報告されている。(路床、下層路盤)
		コア採取により厚さの確認が行われている。
		コア採取により密度の確認が行われている。
		締め固め度、粒度、アスファルト量は規格値内である。
		動的安定度(改質Ⅱ型)、すべり抵抗、平坦性、現場透水量等は規格値内である。
		舗設状況報告書により到着温度、敷き均し温度、転圧終了温度、及び解放温度が確認できる。
		混合所発温度、及び舗設開始温度を運搬車1台ごとに測定している。
		適正温度で舗設作業及び交通開放が行われている。
		施工継ぎ目の既設部分は垂直に切り取って乳剤を塗布している。
		施工継ぎ目の上層と下層は同じ場所で重なっていない。
		セメント処理混合物層を上下2層として施工する場合同日内に施工している。
		アスファルト乳剤は、転圧終了直後、必要量を均等に散布している。
		舗設作業条件(雨天、日平均気温5℃以下は不適)は守っている。
		路面構造物(街渠等)接触面に歴青剤が塗布されている。
		滑り抵抗の測定は、施工後1週間以内に行っている。
		品質管理及び記録の整理に創意工夫が見られた。
		( )
	<b>細目評価</b>	$( \quad \times 3 + \quad \times 2 + \quad \times 1 ) \div ( \quad \times 3 ) \times 100 = \quad \text{点}$



# 検査員工事成績項目別評定表（土木）

工種：舗装工事（アスファルト舗装）

第8号様式の11

検査種類		
評定項目	施工管理	
細目	評価	対象項目
<b>③ 出来形</b>		契約内容に対応した出来高数量がある。
		出来高及び出来形の管理は、測定項目・測定頻度とも仕様書の規定を満足している。
		出来高及び出来形管理の資料は、分かり易く整理されている。
		路盤の基準高、幅、厚さは規格値内である。
		アスファルトコンクリート層の基準高、幅、厚さは規格値内である。
		路床土を盛土する場合は一層の仕上がり厚は20cm以下となっている。
		クラッシャー層の一層仕上がり厚は20cm以下となっている。
		セメント処理混合物層及び粒度調整碎石層の一層仕上がり厚は15cm以下となっている。
		アスファルト処理混合物層の一層の仕上がり厚は10cm以下となっている。
		アスファルトコンクリート層の一層の仕上がり厚は7cm以下となっている。
		出来形測定の不可視部分は、工事記録写真により確認できる。
		現地立会計測の結果は、管理資料の数値と小差で整合している。
		出来形に関し創意工夫及び熱意が見られた。
	( )	
	細目評価 ( <input type="text"/> × 3 + <input type="text"/> × 2 + <input type="text"/> × 1 ) / ( <input type="text"/> × 3 ) × 100 = <input type="text"/> 点	
<b>④ 出来ばえ</b>		路床土の中の有害物、及び不良箇所は取り除かれている。
		路盤表面のごみ、泥、浮き石等を取り除かれ、乾燥している。
		舗装の平坦性は良好である。
		端部処理は良好である。
		既設舗装へのすりつけ等は良好である。
		雨水処理は良好である。
		全体的な仕上がり・外観、おさまり具合は良好である。
		目視できない部分は、工事記録写真で確認できる。
		出来ばえに関し、創意工夫及び熱意が見られた。
		( )
	細目評価 ( <input type="text"/> × 3 + <input type="text"/> × 2 + <input type="text"/> × 1 ) / ( <input type="text"/> × 3 ) × 100 = <input type="text"/> 点	

- 備考**
- 1 各評価対象項目は、A(良好)、B(普通)及びC(不良)の3段階評価とし、A、B及びCのいずれかを選択する。
  - 2 評価対象項目のうち対象工事の内容に合致しないものは、評価せずに空欄とする。
  - 3 細目評価は、100点満点とし次に掲げる算式により算出する。(小数第2位を四捨五入)  

$$(A\text{評価項目数} \times 3\text{点} + B\text{評価項目数} \times 2\text{点} + C\text{評価項目数} \times 1\text{点}) / (\text{評価した項目数} \times 3) \times 100$$
  - 4 評価対象項目を追加することが妥当である工事は、項目を追加する。

# 検査員工事成績項目別評定表（土木）

工種：下水道工事

第8号様式の12

検査種類	
評定項目	施工管理
細目	評価対象項目
<b>① 施工管理</b>	提出書類は整っている。
	変更及び承諾の処理は、適切に行っている。
	特記仕様書の規定は守られている。
	搬入調書の数量は必要量入っている。
	施工管理記録が整理されている。
	工事記録写真は、撮影計画のとおり行われ、撮影工種・撮影時期・撮影方法とも適切である。
	工事記録写真により、各工種の施工過程が確認できる。
	施工方法及び材料は監督員の承諾を受け整理されている。
	現場代理人・主任技術者・監理技術者は、契約内容を理解している。
	施工管理及び記録の整理に創意工夫が見られた。
( )	
<b>細目評価</b>	(      × 3 +      × 2 +      × 1 ) / (      × 3 ) × 100 =      点
<b>② 品質管理</b>	品質管理記録が整理されている。
	材料の品質規格証明書(ミルシート・検査証明書)は、整理されている。
	品質試験は、頻度・項目共必要数実施されており、結果は規格値を満たし整理されている。
	仮設は、適切に施工されている。
	関連示方書の施工規程は、守られている。
	施工規程の管理について記録又は写真が整理されている。
	完成構造物について、必要な試験が行われ結果は規格値を満たしている。
	使用機器のキャリブレーション(目盛調整)は、行われている。
	品質管理についての工事記録写真が整理されている。
	建設副産物(発生土・コンクリート・アスコン塊・廃棄物)の処理に必要な書類が提出され、マニフェストで管理されている。
	土砂や使用材料の運搬で過積載防止を厳守している。
	使用する推進機は、設計又は承認規格どおりである。
	立坑は、設計図や仕様書に沿って施工されている。
	地盤改良は、設計図や仕様書に沿って施工されている。
	地盤改良後の試験強度(圧縮強度・N値等)は、指定値は上回っている。
	施工記録(杭頭・杭先端・注入量・引上速度・吐出土圧等)は、整理されている。
	事前ボーリングの結果は整理され、想定地盤と整合していることが確認されている。
	裏込注入の配合・注入圧などは、仕様書に沿って施工されている。
	盛土・埋戻工において一層の仕上がり厚が規定どおり施工されている。
	鉄筋の本数・配筋間隔・配置位置が図面通りに施工されている。
	本管への支管取り付けは、浸入水が生じないように適切に施工されている。
	コンクリート工の搬入・打設・締固め・養生は規定どおり施工されている。
	コンクリートの型枠・支保工の取り外し時期について管理されている。
	舗装のコア採取により厚さ・密度の確認が行われている。
	舗装の締固度・粒度・アスファルト量は、規格値内である。
	アスファルト混合物の到着・敷均・転圧終了及び解放の温度が確認できる。
	アスファルト混合物のプラント発及び舗設開始温度を運搬車1台毎に測定している。
	舗設作業条件(雨天・日平均気温5°C以下は不適)は守っている。
	品質管理及び記録の整理に創意工夫が見られた。
	( )
<b>細目評価</b>	(      × 3 +      × 2 +      × 1 ) / (      × 3 ) × 100 =      点

# 検査員工事成績項目別評定表（土木）

工種：下水道工事

第8号様式の12

検査種類	
評定項目	施工管理
細目	評価対象項目
<b>③ 出来形</b>	出来高数量は、契約数量を満たしている。
	出来高数量の算出根拠は整理されている。
	出来形の管理は、測定項目・測定頻度とも仕様書の規定を満足している。
	出来形管理の資料は、整理されている。
	出来形計測値は、規格値内である。
	現地立会計測の結果は、管理資料の数値と整合している。
	自社の管理基準を設定し、管理を行っている。
	出来形測定の見えぬ部分は、工事記録写真により確認できる。
	完了図は、現地の地盤高・管底高・施工高・躯体の大きさ・勾配などと一致している。
	管の勾配は、設計値と整合している。
	副管（内・外）は、適切に施工されている。
	汚水管の飛散防止策は、適切に講じられている。
	人孔の足かけ金物は適切に施工されている。
	舗装の路盤やアスコン厚の基準高・幅・厚さは、規格値内である。
	公共ますは「公共ます位置申請書」のとおり施工されている。
	出来形に関し創意工夫及び熱意が見られた。
	( )
	<b>細目評価</b>
<b>④ 出来ばえ</b>	管渠の形状・外観・通りは良好である。
	公共ますの位置、施工高さ、深さは適切である。
	取り付け管に変形や弛みがない。
	構造物の表面の仕上げは、丁寧に均一に行われている。
	隣接構造物との取り付け・すり合わせは、良好である。
	構造物の仕上がりは、使用目的、使用者の安全に配慮されている。
	構造物の手直しは丁寧にされている。
	目視できない部分は、工事記録写真で確認できる。
	人孔蓋の耐荷重及び蓋の向きは、適切に施工されている。
	構造物周辺などの狭小部分の転圧は十分行われている。
	チェックボーリング結果などから改良範囲（杭頭・杭端・固化長）が確認できる。
	管渠及び人孔より浸入水が見られない。
	工事により、周辺の地盤や構造物、埋設物、家屋に変状を与えていない。
	覆工は、覆工板の据え付け、既設道路とのすり付け等が良好に施工されている。
	工事車両のタイヤ洗浄・散水・路面清掃等の防塵対策は、良好に行われている。
	コンクリートにクラックやコールドジョイントがない。
	舗装の平坦性は良好である。
	既設舗装へのすり付け等は、良好である。
出来ばえに関し、創意工夫及び熱意が見られた。	
( )	
<b>細目評価</b>	$( \quad \times 3 + \quad \times 2 + \quad \times 1 ) \div ( \quad \times 3 ) \times 100 = \quad \text{点}$

- 備考**
- 1 各評価対象項目は、A(良好)、B(普通)及びC(不良)の3段階評価とし、A、B及びCのいずれかを選択する。
  - 2 評価対象項目のうち対象工事の内容に合致しないものは、評価せずに空欄とする。
  - 3 細目評価は、100点満点とし次に掲げる算式により算出する。(小数第2位を四捨五入)  
 $(A \text{評価項目数} \times 3 \text{点} + B \text{評価項目数} \times 2 \text{点} + C \text{評価項目数} \times 1 \text{点}) \div (\text{評価した項目数} \times 3) \times 100$
  - 4 評価対象項目を追加することが妥当である工事は、項目を追加する。

# 検査員工事成績項目別評定表（土木）

工種：水道工事

第8号様式の13

検査種類		
評定項目	施工管理	
細目	評価対象項目	
<b>① 施工管理</b>	提出書類は整っている。	
	変更及び承諾の処理は、適切に行っている。	
	特記仕様書の規定は守られている。	
	搬入調書の数量は必要量入っている。	
	施工管理記録が整理されている。	
	工事記録写真は、撮影計画のとおり行われ、撮影工種・撮影時期・撮影方法とも適切である。	
	工事記録写真により、各工種の施工過程が確認できる。	
	現場代理人・主任技術者・監理技術者は、契約内容を理解している。	
	承認された配水管工及び給水装置工事主任技術者が作業を行っているか。	
	施工管理及び記録の整理に創意工夫が見られた。	
	( )	
<b>細目評価</b>	(    × 3 +    × 2 +    × 1 ) / (    × 3 ) × 100 =    点	
<b>② 品質管理</b>	品質管理記録が整理されている。	
	品質管理についての工事記録写真が整理されている。	
	材料の品質規格証明書が整理されている。	
	鉄管防食用ポリエチレンスリーブ被覆が適切に施工されている。	
	テープ及びシートの色彩により管明示がされている。	
	鋳鉄管の接合状況がチェックシートにより確認できる。	
	水圧試験結果が、報告・提出されている。	
	管径（75mm・100mm）毎のカッター刃の使い分け等、切管状況が記録写真により確認できる。	
	伏せ越しの工法・防護・表示板等が記録写真により確認できる。	
	仮復旧の状況が工事記録写真により確認できる	
	本復旧の状況が工事記録写真により確認できる	
	制水弁、消火栓の作動試験がされている。	
	波状ステンレス管の曲げ加工の状況が工事記録写真で確認できる。	
	仮設工は適切であった。	
	他企業の占用物との離隔が確認できる。	
	埋め戻しの転圧状況が確認できる。	
	分水閉止を確実にしている。	
	配水管削孔の切り子の処理状況が確認できる。	
	止水栓の開閉操作は、発注者により行っている。	
	品質管理及び記録の整理に創意工夫が見られた。	
( )		
<b>細目評価</b>	(    × 3 +    × 2 +    × 1 ) / (    × 3 ) × 100 =    点	

## 検査員工事成績項目別評定表（土木）

工種：水道工事

第8号様式の13

検査種類	
評定項目	施工管理
細目	評価対象項目
<b>③ 出来形</b>	契約内容に対応した出来高がある。
	出来高及び出来形の管理は、測定項目、測定頻度とも仕様書の規定を満足している。
	出来高及び出来形管理の資料は、分かり易く整理されている。
	管の敷設深さは、規格値内である。
	占用位置は、確認できる。
	管防護の幅、厚さは規格値内である。
	消火栓、区画量水器、制水弁等の芯からの壁面までの距離は規格値内である。
	現地立会計測の結果は、管理資料の計測数値と一致する。
	出来形測定の不可視部分は、工事記録写真により確認できる。
	出来形に関し創意工夫及び熱意が見られた。
( )	
<b>細目評価</b>	$( \quad \times 3 + \quad \times 2 + \quad \times 1 ) \div ( \quad \times 3 ) \times 100 = \quad \text{点}$
<b>④ 出来ばえ</b>	目視出来ない部分は、工事記録写真により確認できる。
	路面と止水弁、消火栓等の高さが同一である。
	路面表示の仕上がりは良好である。
	メーターボックスの設置の仕上がりは良好である。
	出来ばえに関し、創意工夫及び熱意が見られた。
	( )
<b>細目評価</b>	$( \quad \times 3 + \quad \times 2 + \quad \times 1 ) \div ( \quad \times 3 ) \times 100 = \quad \text{点}$

- 備考**
- 1 各評価対象項目は、A(良好)、B(普通)及びC(不良)の3段階評価とし、A、B及びCのいずれかを選択する。
  - 2 評価対象項目のうち対象工事の内容に合致しないものは、評価せずに空欄とする。
  - 3 細目評価は、100点満点とし次に掲げる算式により算出する。(小数第2位を四捨五入)  
 $(A \text{ 評価項目数} \times 3 \text{ 点} + B \text{ 評価項目数} \times 2 \text{ 点} + C \text{ 評価項目数} \times 1 \text{ 点}) \div (\text{評価した項目数} \times 3) \times 100$
  - 4 評価対象項目を追加することが妥当である工事は、項目を追加する。

# 検査員工事成績項目別評定表（土木）

工種：電線共同溝工

第8号様式の14

検査種類		
評定項目	施工管理	
細目	評価	対象項目
<b>① 施工管理</b>		提出書類は整っている。
		変更及び承諾の処理は、適切に行っている。
		特記仕様書の規定は守られている。
		搬入調書の数量は必要量入っている。
		施工管理記録が整理されている。
		工事記録写真は、撮影計画のとおり行われ、撮影工種・撮影時期・撮影方法とも適切である。
		工事記録写真により、各工種の施工過程が確認できる。
		現場代理人・主任技術者・監理技術者は、契約内容を理解している。
		施工管理及び記録の整理に創意工夫が見られた。
		( )
	<b>細目評価</b>	$( \quad \times 3 + \quad \times 2 + \quad \times 1 ) \div ( \quad \times 3 ) \times 100 = \quad \text{点}$
<b>② 品質管理</b>		品質管理記録が整理されている。
		品質管理についての工事記録写真が整理されている。
		仕様書で定められている品質管理が、頻度・種類とも実施されている。
		電力ケーブル用管路導通試験は、全箇所合格している。
		通信ケーブル用管路導通試験は、全箇所合格している。
		通信ケーブル用管路接続性能試験は、全箇所規格値以内である。
		品質試験の結果は、全て規格を満足している。
		品質管理及び記録の整理に創意工夫が見られた。
	( )	
	<b>細目評価</b>	$( \quad \times 3 + \quad \times 2 + \quad \times 1 ) \div ( \quad \times 3 ) \times 100 = \quad \text{点}$



# 検査員工事成績項目別評定表（土木）

工種：電線共同溝工

第8号様式の14

検査種類	
評定項目	施工管理
細目	評価対象項目
<b>③ 出来形</b>	出来高数量は、契約数量を満たしている。
	出来高数量の算出根拠は、整理されている。
	出来形の管理は、測定項目・測定頻度とも仕様書の規定を満足している。
	出来形管理の資料は整理されている。
	管路の位置、延長及び高さは、規格値以内に施工されている。
	管枕の支持間隔は適切である。
	管路部の埋戻しは、15cm毎に締め固めてある。
	管路基礎工において、水締めを行っている（設計で計上している場合）。
	管路上部+10cmに埋設シートを布設している。
	特殊部の位置及び高さは、規格値以内に施工されている。
	特殊部の底版中央部穴に砕石が敷いてある。
	出来形についての工事記録写真が整理されている。
	出来形管理表の数値は、全て規格値を満足している。
	出来形測定の不可視部分は、工事記録写真により確認できる。
	現地立会計測の結果は、管理資料の数値と小差で整合している。
出来形に関し創意工夫及び熱意が見られた。	
( )	
<b>細目評価</b>	$( \quad \times 3 + \quad \times 2 + \quad \times 1 ) \div ( \quad \times 3 ) \times 100 = \quad \text{点}$
<b>④ 出来ばえ</b>	特殊部の連結金具のボルト締めは、しっかりされている。
	特殊部の各ブロック間は、うまく接続されている（プレートにより接続）。
	受け金具は、しっかり固定されている
	吊りボルトの穴は、埋めてある。
	歩道へのすりつけは、良好である。
	全体的な仕上がり・外観、おさまり具合は良好である。
	目視できない部分は、工事記録写真で確認できる。
	出来ばえに関し、創意工夫及び熱意が見られた。
( )	
<b>細目評価</b>	$( \quad \times 3 + \quad \times 2 + \quad \times 1 ) \div ( \quad \times 3 ) \times 100 = \quad \text{点}$

- 備考**
- 1 各評価対象項目は、A(良好)、B(普通)及びC(不良)の3段階評価とし、A、B及びCのいずれかを選択する。
  - 2 評価対象項目のうち対象工事の内容に合致しないものは、評価せずに空欄とする。
  - 3 細目評価は、100点満点とし次に掲げる算式により算出する。(小数第2位を四捨五入)  
 $(A \text{評価項目数} \times 3 \text{点} + B \text{評価項目数} \times 2 \text{点} + C \text{評価項目数} \times 1 \text{点}) \div (\text{評価した項目数} \times 3) \times 100$
  - 4 評価対象項目を追加することが妥当である工事は、項目を追加する。



# 検査員工事成績項目別評定表（土木）

工種：公園・植栽工事

第8号様式の15

検査種類		
評定項目	施工管理	
細目	評価対象項目	
① 施工管理	提出書類は整っている。	
	変更及び承諾の処理は、適切に行っている。	
	特記仕様書の規定は守られている。	
	搬入調書の数量は必要量入っている。	
	施工管理記録が整理されている。	
	施工管理の工事記録写真が整理されている。	
	現場代理人・主任技術者・監理技術者は、契約内容を理解している。	
	施工管理及び記録の整理に創意工夫が見られた。	
	( )	
	細目評価 (    × 3 +    × 2 +    × 1 ) / (    × 3 ) × 100 =    点	
② 品質管理	品質管理記録が整理されている。	
	品質管理についての工事記録写真が整理されている。	
	仕様書で定められている品質管理が、頻度・種類とも実施されている。	
	植栽する樹木等は、搬入日に植え付けしている。	
	品質管理及び記録の整理に創意工夫が見られた。	
	( )	
	細目評価 (    × 3 +    × 2 +    × 1 ) / (    × 3 ) × 100 =    点	
	③ 出来形	契約内容に対応した出来高数量がある。
		出来高及び出来形の管理は、測定項目・測定頻度とも仕様書の規定を満足している。
		出来高及び出来形管理の資料は、分かり易く整理されている。
園路・広場等の舗装の、基準高、幅、厚さは、規格値以内に施工している。		
休養・修景施設等の構造物の、位置、延長、長さ、幅、厚さは、規格値以内に施工している。		
幹周り、樹高、枝幅等樹木の形状は、規格値以上とれている。		
出来形測定の不可視部分は、工事記録写真により確認できる。		
現地立会計測の結果は、管理資料の数値と小差で整合している。		
出来形に関し創意工夫及び熱意が見られた。		
( )		
細目評価 (    × 3 +    × 2 +    × 1 ) / (    × 3 ) × 100 =    点		
④ 出来ばえ	公園施設等の施工は丁寧に行われている。	
	ベンチ前面の足元地盤等については、水はけを良く地均して充分転圧している。	
	ボルト等による締め付け箇所については、十分な締め付けがされている。	
	木部及びコンクリート部の面取り・水切りがされている。	
	水勾配を考慮した施設設置を行っている。	
	植栽等の施工は丁寧で通りも良好である。	
	控木の丸太は、防腐処理したものを使用している。	
	控木、添木等の取り付け方法は、契約どおり行われている。	
	街路樹の樹幹は、垂直に建て込み道路と平行になるよう見栄え良く植え付けている。	
	土は、土塊、瓦礫、雑草等がない。	
全体的な仕上がり・外観、おさまり具合は良好である。		
目視できない部分は、工事記録写真で確認できる。		
出来ばえに関し、創意工夫及び熱意が見られた。		
( )		
細目評価 (    × 3 +    × 2 +    × 1 ) / (    × 3 ) × 100 =    点		

- 備考**
- 1 各評価対象項目は、A(良好)、B(普通)及びC(不良)の3段階評価とし、A、B及びCのいずれかを選択する。
  - 2 評価対象項目のうち対象工事の内容に合致しないものは、評価せずに空欄とする。
  - 3 細目評価は、100点満点とし次に掲げる算式により算出する。(小数第2位を四捨五入)  

$$(A\text{評価項目数} \times 3\text{点} + B\text{評価項目数} \times 2\text{点} + C\text{評価項目数} \times 1\text{点}) / (\text{評価した項目数} \times 3) \times 100$$
  - 4 評価対象項目を追加することが妥当である工事は、項目を追加する。

# 検査員工事成績項目別評定表（土木）

工種：開削・内面被覆

第8号様式の16

検査種類		第8号様式の16
評定項目	施工管理	
細目	評価対象項目	
<b>① 施工管理</b>	提出書類は整っている。	
	変更及び承諾の処理は、適切に行っている。	
	特記仕様書の規定は守られている。	
	搬入調書の数量は必要量入っている。	
	施工管理記録が整理されている。	
	工事記録写真は、撮影計画のとおり行われ、撮影工種・撮影時期・撮影方法とも適切である。	
	工事記録写真により、各工種の施工過程が確認できる。	
	施工方法及び材料は監督員の承諾を受け整理されている。	
	製管工法の裏込め注入材料・注入時間・注入圧力等は適切に行われている。	
	施工管理及び記録の整理に創意工夫が見られた。	
( )		
<b>細目評価</b>	$\left( \quad \times 3 + \quad \times 2 + \quad \times 1 \right) \div \left( \quad \times 3 \right) \times 100 = \quad \text{点}$	
<b>② 品質管理</b>	品質管理記録が整理されている。	
	材料の品質規格証明書(ミルシート・検査証明書)は、整理されている。	
	品質試験は、頻度・項目共実施されており、結果は規格値を満たし整理されている。	
	関連示方書の施工規程は、守られている。	
	施工規程の管理について記録又は写真が整理されている。	
	完成構造物について必要な試験が行われ、結果は規格値を満たしている。	
	使用機器のキャリブレーション(目盛調整)は、行われている。	
	品質管理についての工事記録写真が整理されている。	
	建設副産物(発生土・コンクリート・アスコン塊・廃棄物)の処理に必要な書類が提出され、マニフェストで管理されている。	
	土砂や使用材料の運搬で過積載防止を厳守している。	
	コンクリート工の搬入・打設・締固め・養生は規程どおり施工されている。	
	盛土・埋戻工において一層の仕上がり厚が規程どおり施工されている。	
	舗装のコア採取により厚さ・密度の確認が行われている。	
	舗装の締固め・粒度・アスファルト量は、規格値内である。	
	舗装の到着・敷均・転圧終了及び解放の温度が確認できる。	
	舗装の混合所発及び舗設開始温度を運搬車1台毎に測定している。	
	舗装作業条件(雨天、日平均気温5℃以下は不適)は守っている。	
	品質管理及び記録の整理に創意工夫が見られた。	
( )		
<b>細目評価</b>	$\left( \quad \times 3 + \quad \times 2 + \quad \times 1 \right) \div \left( \quad \times 3 \right) \times 100 = \quad \text{点}$	

# 検査員工事成績項目別評定表（土木）

工種：開削・内面被覆

第8号様式の16

検査種類	
評定項目	施工管理
細目	評価対象項目
<b>③ 出来形</b>	出来高数量は、契約数量を満たしている。
	出来高数量の算出根拠は、整理されている。
	出来形の管理は、測定項目・測定頻度とも仕様書の規定を満足している。
	出来形管理の資料は整理されている。
	出来形計測値は規格値内である。
	現地立会計測の結果は、管理資料の数値と整合している。
	自社の管理基準を設定し、管理をおこなっている。
	出来形測定の見え難い部分は、工事記録写真により確認できる。
	完了図は、現地の地盤高・管底高・施工高・駆体の大きさ・勾配などと一致している。
	杭の位置・間隔・鉛直精度等は、規格値以内である。
	舗装の路盤やアスコン厚の基準高・幅・厚さは、規格値内である。
	出来形に関し創意工夫及び熱意が見られた。
	( )
<b>細目評価</b>	$( \quad \times 3 + \quad \times 2 + \quad \times 1 ) \div ( \quad \times 3 ) \times 100 = \quad \text{点}$
<b>④ 出来ばえ</b>	構造物の形状・外観・通りは良好である。
	構造物の表面の仕上げは、仕様書の規定どおりに行われている。
	構造物の表面に、仕様書で規定されている欠陥がない。
	構造物の表面の仕上げは、丁寧で均一に行われている。
	隣接構造物との、取付け・すり合わせは良好である。
	構造物の仕上がりは、使用目的、使用者の安全に配慮されている。
	構造物の手直しは、丁寧に行われている。
	工事により、周囲の地盤や構造物、埋設物、家屋に変状を与えていない。
	構造物周辺など狭小部分の転圧は十分に行われている。
	管の継ぎ目・人孔や柵の側塊等から漏水がない。
	覆工は、覆工板の据付、既設道路とのすり付け等が良好に施工されている。
	工事車両のタイヤ洗浄・散水・路面清掃等の防塵対策は、良好に行われている。
	コンクリートにクラックやコールドジョイントがない。
舗装の平坦性は良好である。	
既設舗装へのすり付け等は良好である。	
出来ばえに関し、創意工夫及び熱意が見られた。	
( )	
<b>細目評価</b>	$( \quad \times 3 + \quad \times 2 + \quad \times 1 ) \div ( \quad \times 3 ) \times 100 = \quad \text{点}$

- 備考**
- 1 各評価対象項目は、A(良好)、B(普通)及びC(不良)の3段階評価とし、A、B及びCのいずれかを選択する。
  - 2 評価対象項目のうち対象工事の内容に合致しないものは、評価せずに空欄とする。
  - 3 細目評価は、100点満点とし次に掲げる算式により算出する。(小数第2位を四捨五入)  
 $(A \text{評価項目数} \times 3 \text{点} + B \text{評価項目数} \times 2 \text{点} + C \text{評価項目数} \times 1 \text{点}) \div (\text{評価した項目数} \times 3) \times 100$
  - 4 評価対象項目を追加することが妥当である工事は、項目を追加する。

# 検査員工事成績項目別評定表（土木）

工種：塗装工

第8号様式の17

検査種類	
評定項目	施工管理
細目	評価対象項目
<b>① 施工管理</b>	提出書類は整っている。
	変更及び承諾の処理は、適切に行っている。
	特記仕様書の規定は守られている。
	搬入調書の数量は必要量入っている。
	施工管理記録が整理されている。
	工事記録写真は、撮影計画のとおり行われ、撮影工種・撮影時期・撮影方法とも適切である。
	工事記録写真により、各工種の施工過程が確認できる。
	現場代理人・主任技術者・監理技術者は、契約内容を理解している。
	施工管理及び記録の整理に創意工夫が見られた。
	( )
	<b>細目評価</b>
<b>② 品質管理</b>	品質管理記録が整理されている。
	品質管理についての工事記録写真が整理されている。
	塗装種別及び材料規格は契約書と合致している。
	規格試験成績書、上塗り見本、製造年月日の確認資料は整理されている。
	塗装材料の必要量計算書、及び充缶数・空缶数は確認されている。
	塗装の施工記録は整理されている。
	熟成時間と可使時間、及び希釈率の管理が行われている。
	湿度・気温・風等の気象条件は、制限値以内である。
	素地調整の仕上がり状態は、仕様書の規定どおりである。
	素地調整面には、規定時間内に下塗りがされている。
	塗り重ね間隔は、仕様書の規定どおりである。
	タッチアップ塗装は、設計仕様のとおり行われている。
	工事記録写真により、塗装種別ごとに施工過程が確認できる。
品質管理及び記録の整理に創意工夫が見られた。	
( )	
<b>細目評価</b>	( × 3 + × 2 + × 1) / ( × 3) × 100 = 点

## 検査員工事成績項目別評定表（土木）

工種：塗装工

第8号様式の17

検査種類		施工管理
評定項目	施工管理	
細目	評価対象項目	
<b>③ 出来形</b>	塗装膜厚の管理は、測定項目・測定時期・測定頻度とも仕様書の規定を満足している。 塗装膜厚の資料は、整理されている。 塗装膜厚の計測値は規格値以内である。 現地立会計測の結果は、管理資料の数値と整合している。 塗装種別ごとの区域分けは正確であった。 塗装面積は、塗装種別ごとに区分けされており、計測値は正確であった。 自社の管理基準を設定し、管理を行っている。 出来形測定の見え部分、工事記録写真により確認できる。 出来形に関し創意工夫及び熱意が見られた。 ( )	
	細目評価 (    × 3 +    × 2 +    × 1 ) / (    × 3 ) × 100 =    点	
<b>④ 出来ばえ</b>	塗装の塗り忘れ箇所がない。 塗装面にはけ目がない。 塗料のたれ(ながれ)がない。 しわ(ちぢみ)がない。 塗装面の白化がない。 はじき(塗料がなじまず付着不良を起こしている)がない。 にじみ(下塗りが上塗りに浸透して色相が変わっている)がない。 色むらがない。 ピンホールがない。 すけ(下塗りの色がすけて見える)がない。 ふくれ(塗膜がもちあげられて膨れている)がない。 ゴミ等の巻き込みがない。 表面のざらつき等がない。 表面欠陥の手直しは、丁寧に行われていた。 目視できない部分は、工事記録写真で確認できる。 出来ばえに関し、創意工夫及び熱意が見られた。 ( )	
	細目評価 (    × 3 +    × 2 +    × 1 ) / (    × 3 ) × 100 =    点	

**備考**

- 1 各評価対象項目は、A(良好)、B(普通)及びC(不良)の3段階評価とし、A、B及びCのいずれかを選択する。
- 2 評価対象項目のうち対象工事の内容に合致しないものは、評価せずに空欄とする。
- 3 細目評価は、100点満点とし次に掲げる算式により算出する。(小数第2位を四捨五入)  

$$(A\text{評価項目数} \times 3\text{点} + B\text{評価項目数} \times 2\text{点} + C\text{評価項目数} \times 1\text{点}) / (\text{評価した項目数} \times 3) \times 100$$
- 4 評価対象項目を追加することが妥当である工事は、項目を追加する。

## 検査員工事成績項目別評定表（土木）

工種：護岸・しゅんせつ工

第8号様式の18

検査種類		
評定項目	施工管理	
細目	評価	対象項目
<b>① 施工管理</b>		提出書類は整っている。
		変更及び承諾の処理は、適切に行っている。
		特記仕様書の規定は守られている。
		搬入調書の数量は必要量入っている。
		施工管理記録が整理されている。
		工事記録写真は、撮影計画のとおり行われ、撮影工種・撮影時期・撮影方法とも適切である。
		工事記録写真により、各工種の施工過程が確認できる。
		現場代理人・主任技術者・監理技術者は、契約内容を理解している。
		施工管理及び記録の整理に創意工夫が見られた。
		( )
	<b>細目評価</b>	$( \quad \times 3 + \quad \times 2 + \quad \times 1 ) / ( \quad \times 3 ) \times 100 = \quad \text{点}$
<b>② 品質管理</b>		品質管理記録が整理されている。
		品質管理についての工事記録写真が整理されている。
		材料の品質規格及び数量は、材料検査調書で確認できる。
		品質試験は、頻度・項目とも実施しており、結果は整理されている。
		品質試験の結果は、規格値を満たしている。
		コンクリートの施工は、示方書の規定を守って行われている。
		目地板及び止水板の取付は適正で所定の位置に施工されている。
		タイロッドは所定の位置に施工され、鋼矢板の穿孔も行われている。
		鉄筋かごの右詰めは規定どおり行われ、施工もなされている。
		根固めコンクリートブロックは一連の番号が付されている。
		ブロックは、局所的な空隙がなく施工されている。
		連結ナットは抜けない程度にネジ山をつぶし施工している。
		しゅんせつの作業区域は標示されている。
	品質管理及び記録の整理に創意工夫が見られた。	
	( )	
	<b>細目評価</b>	$( \quad \times 3 + \quad \times 2 + \quad \times 1 ) / ( \quad \times 3 ) \times 100 = \quad \text{点}$



## 検査員工事成績項目別評定表（土木）

工種：護岸・しゅんせつ工

第8号様式の18

検査種類		評定項目	施工管理
細目	評価	対象項目	
<b>③ 出来形</b>		出来高数量は、契約数量を満たしている。	
		出来高数量の算出根拠は、整理されている。	
		出来形の管理は、測定項目・測定頻度とも仕様書の規定を満足している。	
		出来形管理の資料は整理されている。	
		出来形計測値は規格値内である。	
		現地立会計測の結果は、管理資料の数値と整合している。	
		自社の管理基準を設定し、管理を行っている。	
		出来形測定の不可視部分は、工事記録写真により確認できる。	
		出来形に関し創意工夫及び熱意が見られた。	
		( )	
	<b>細目評価</b>	(    × 3 +    × 2 +    × 1 ) / (    × 3 ) × 100 =    点	
<b>④ 出来ばえ</b>		施工は丁寧で構造物の通りがよい。	
		構造物の仕上げがよい。	
		既設構造物とのすり合わせがよい。	
		構造物にクラック等の欠陥がなく全体的な美観がよい。	
		構造物の表面等の手直しは、ていねいに行われている。	
		目地板及び止水板は丁寧に仕上げられていた。	
		型枠の目違いがない。	
		面取りは施工されている。	
		しゅんせつ深さは規定値と小差で施工されていた。	
		しゅんせつの施工箇所と未施工箇所とのすりつけがよい。	
	目視できない部分は、工事記録写真で確認できる。		
	出来ばえに関し、創意工夫及び熱意が見られた。		
	( )		
	<b>細目評価</b>	(    × 3 +    × 2 +    × 1 ) / (    × 3 ) × 100 =    点	

- 備考**
- 1 各評価対象項目は、A(良好)、B(普通)及びC(不良)の3段階評価とし、A、B及びCのいずれかを選択する。
  - 2 評価対象項目のうち対象工事の内容に合致しないものは、評価せずに空欄とする。
  - 3 細目評価は、100点満点とし次に掲げる算式により算出する。(小数第2位を四捨五入)  

$$(A\text{評価項目数} \times 3\text{点} + B\text{評価項目数} \times 2\text{点} + C\text{評価項目数} \times 1\text{点}) / (\text{評価した項目数} \times 3) \times 100$$
  - 4 評価対象項目を追加することが妥当である工事は、項目を追加する。



# 検査員工事成績項目別評定表（土木）

工種：舗装工事（セメントコンクリート舗装）

第8号様式の19

検査種類		
評定項目	施工管理	
細目	評価対象項目	
① 施工管理	提出書類は整っている。	
	変更及び承諾の処理は、適切に行っている。	
	特記仕様書の規定は守られている。	
	搬入調書の数量は必要量入っている。	
	施工管理記録が整理されている。	
	施工管理の工事記録写真が整理されている。	
	路床工、路盤工は各規定を準用している。	
	木製型枠を用いるとき及び型枠を外す時期について、監督員の承諾を受けている。	
	鉄筋又は鉄網を入れるときの敷均し及び締固め等について、監督員の承諾を受けている。	
	施工管理及び記録の整理に創意工夫が見られた。	
( )		
細目評価	$\left( \quad \times 3 + \quad \times 2 + \quad \times 1 \right) / \left( \quad \times 3 \right) \times 100 = \quad \text{点}$	
② 品質管理	品質管理記録が整理されている。	
	品質管理についての工事記録写真が整理されている。	
	基準密度は監督員の承諾を受けている。	
	締め固め終了後のブルーローリング結果は報告されている。(路床、下層路盤)	
	上層路盤の密度は測定されている。	
	コア採取により密度の確認が行われている。	
	舗設状況報告書により到着温度、敷き均し温度及び転圧終了温度が確認できる。	
	混合所発温度、及び舗設開始温度を運搬車1台ごとに測定している。	
	スランプ、空気量、曲げ強度、塩化物量、アルカリ骨材反応は測定されている。	
	厚さ、路面の平坦性は立会確認によって測定されている。	
	吸引時の真空度は、450～600mmHgである。	
	真空処理作業はコンクリートの表面仕上げ終了後、直ちに開始している。	
	吸引時間については、水セメント比、スランプ等を考慮して施工している。	
	吸引された水量は監督員に報告されている。	
	真空処理面の養生を直ちに行っている。	
	コンクリートの製造、運搬、作業条件、敷き均し締固め、型枠設置、及び平坦性は各規定を準用している。	
	締固め終了後、直ちに荒仕上げをし、引き続き平坦仕上げをおこない、さらに粗面仕上げをおこなっている。	
	目地の位置はあらかじめ型枠の上に表示してある。	
品質管理及び記録の整理に創意工夫が見られた。		
( )		
細目評価	$\left( \quad \times 3 + \quad \times 2 + \quad \times 1 \right) / \left( \quad \times 3 \right) \times 100 = \quad \text{点}$	

## 検査員工事成績項目別評定表（土木）

工種：舗装工事（セメントコンクリート舗装）

第8号様式の19

検査種類		
評定項目	施工管理	
細目	評価	対象項目
<b>③ 出来形</b>		契約内容に対応した出来高数量がある。
		出来高及び出来形の管理は、測定項目・測定頻度とも仕様書の規定を満足している。
		出来高及び出来形管理の資料は、分かり易く整理されている。
		路盤の基準高、幅、厚さは規格値内である。
		セメントコンクリート層の基準高、幅、厚さは規格値内である。
		路床土を盛土する場合は一層の仕上がり厚は20cm以下となっている。
		クラッシュラン層の一層仕上がり厚は20cm以下、粒度調整砕石層は15cm以下となっている。
		セメント処理混合物層の一層仕上がり厚は15cm以下となっている。
		出来形測定の不可視部分は、工事記録写真により確認できる。
		現地立会計測の結果は、管理資料の数値と小差で整合している。
	出来形に関し創意工夫及び熱意が見られた。	
	( )	
	細目評価 (    × 3 +    × 2 +    × 1 ) / (    × 3 ) × 100 =    点	
<b>④ 出来ばえ</b>		路床土の中の有害物、及び不良箇所は取り除かれている。
		路盤表面のごみ、泥、浮き石等を取り除かれ、乾燥している。
		舗装の平坦性は良好である。
		端部処理は良好である。
		既設舗装へのすりつけ等は良好である。
		雨水処理は良好である。
		全体的な仕上がり・外観、おさまり具合は良好である。
		目視できない部分は、工事記録写真で確認できる。
		出来ばえに関し、創意工夫及び熱意が見られた。
		( )
	細目評価 (    × 3 +    × 2 +    × 1 ) / (    × 3 ) × 100 =    点	

- 備考**
- 1 各評価対象項目は、A(良好)、B(普通)及びC(不良)の3段階評価とし、A、B及びCのいずれかを選択する。
  - 2 評価対象項目のうち対象工事の内容に合致しないものは、評価せずに空欄とする。
  - 3 細目評価は、100点満点とし次に掲げる算式により算出する。(小数第2位を四捨五入)  

$$(A\text{評価項目数} \times 3\text{点} + B\text{評価項目数} \times 2\text{点} + C\text{評価項目数} \times 1\text{点}) / (\text{評価した項目数} \times 3) \times 100$$
  - 4 評価対象項目を追加することが妥当である工事は、項目を追加する。

# 検査員工事成績項目別評定表（土木）

工種：シールド・推進・立坑工事

第8号様式の20

検査種類		
評定項目	施工管理	
細目	評価	対象項目
<b>① 施工管理</b>		提出書類は整っている。
		変更及び承諾の処理は、適切に行っている。
		特記仕様書の規定は守られている。
		搬入調書の数量は必要量入っている。
		施工管理記録が整理されている。
		工事記録写真は、撮影計画のとおり行われ、撮影工種・撮影時期・撮影方法とも適切である。
		工事記録写真により、各工種の施工過程が確認できる。
		施工方法及び材料は監督員の承諾を受け整理されている。
		現場代理人・主任技術者・監理技術者は、契約内容を理解している。
		施工管理及び記録の整理に創意工夫が見られた。
	( )	
	<b>細目評価</b>	$( \quad \times 3 + \quad \times 2 + \quad \times 1 ) / ( \quad \times 3 ) \times 100 = \quad \text{点}$
<b>② 品質管理</b>		品質管理記録が整理されている。
		材料の品質規格証明書(ミルシート・検査証明書)は、整理されている。
		品質試験は、頻度・項目共必要数実施されており、結果は規格値を満たし整理されている。
		関連示方書の施工規程は、守られている。
		施工規程の管理について記録又は写真が整理されている。
		完成構造物について必要な試験が行われ、結果は規格値を満たしている。
		使用機器のキャリブレーション(目盛調整)は、行われている。
		品質管理についての工事記録写真が整理されている。
		建設副産物(発生土・コンクリート・アスコン塊・廃棄物)の処理に必要な書類が提出され、マニフェストで管理されている。
		土砂や使用材料の運搬で過積載防止を厳守している。
		使用するシールド機・推進機・セグメント・二次覆工材は、設計又は承認規格どおりである。
		立坑(場所打坑・連続地中壁・ソイルミキシング・地中壁・ケーソンなど)は、設計図や仕様書に沿って施工されている。
		地盤改良は、設計図や仕様書に沿って施工されている。
		地盤改良後の試験強度(圧縮強度・N値等)は、指定値を上回っている。
		施工記録(坑頭・坑先端・注入量・引上速度・吐出圧等)は、整理されている。
		事前ボーリングの結果は整理され、想定地盤と整合していることが確認されている。
		裏込注入の配合・注入圧などは、仕様に沿って施工されている。
		盛土・埋戻工において一層の仕上がり厚が規程どおり施工されている。
		鉄筋の本数・配筋間隔・配置位置が図面どおりに施工されている。
		コンクリート工の搬入・打設・締固め・養生は規程どおり施工されている。
		コンクリートの型枠・支保工の取外時期について管理されている。
		舗装のコア採取により厚さ・密度の確認が行われている。
		舗装の締固度・粒度・アスファルト量は、規格値内である。
		舗装の到着・敷均・転圧終了及び解放の温度が確認できる。
		舗装の混合所発及び舗設開始温度を運搬車1台毎に測定している。
	舗設作業条件(雨天、日平均気温5℃以下は不適)は守っている。	
	品質管理及び記録の整理に創意工夫が見られた。	
	( )	
	<b>細目評価</b>	$( \quad \times 3 + \quad \times 2 + \quad \times 1 ) / ( \quad \times 3 ) \times 100 = \quad \text{点}$

# 検査員工事成績項目別評定表（土木）

工種：シールド・推進・立坑工事

第8号様式の20

検査種類	
評定項目	施工管理
細目	評価対象項目
<b>③ 出来形</b>	出来高数量は、契約数量を満たしている。
	出来高数量の算出根拠は、整理されている。
	出来形の管理は、測定項目・測定頻度とも仕様書の規定を満足している。
	出来形管理の資料は、整理されている。
	出来形計測値は、規格値内である。
	現地立会計測の結果は、管理資料の数値と整合している。
	自社の管理基準を設定し、管理を行っている。
	出来形測定の見えぬ部分は、工事記録写真により確認できる。
	完了図は、現地の地盤高・管底高・施工高・駆体の大きさ・勾配などと一致している。
	現場・施工記録などで仮設物や地盤改良の杭径・杭長・杭本数が確認できる。
	杭の位置・間隔・鉛直精度等は、規格値以内である。
	シールドトンネルの設計断面が確保されている。
	二次覆工コンクリートの厚さは計画厚を確保している。
	舗装の路盤やアスコン厚の基準高・幅・厚さは、規格値内である。
	出来形に関し創意工夫及び熱意が見られた。
	( )
	<b>細目評価</b>
<b>④ 出来ばえ</b>	構造物の形状・外観・通りは良好である。
	構造物の表面の仕上げは、仕様書の規程どおりに行われている。
	構造物の表面に仕様書で規定されている欠陥がない。
	構造物の表面の仕上げは、丁寧に均一に行われている。
	隣接構造物との、取付け・すり合わせは良好である。
	構造物の仕上がりは、使用目的、使用者の安全に配慮されている。
	構造物の手直しは、丁寧に行われている。
	目視できない部分は、工事記録写真で確認できる。
	仮設物の形状・外観・通りは良好である。
	構造物周辺など狭小部分の転圧は十分に行われている。
	チェックボーリング結果などから改良範囲(杭頭・杭端・固化長)が確認できる。
	漏水がない。
	工事により、周囲の地盤や構造物、埋設物、家屋に変状を与えていない。
	覆工は、覆工板の据付、既設道路とのすり付け等が良好に施工されている。
	工事車両のタイヤ洗浄・散水・路面清掃等の防塵対策は、良好に行われている。
	コンクリートにクラックやコールドジョイントがない。
	舗装の平坦性は良好である。
既設舗装へのすり付け等は良好である。	
出来ばえに関し、創意工夫及び熱意が見られた。	
( )	
<b>細目評価</b>	$( \quad \times 3 + \quad \times 2 + \quad \times 1 ) / ( \quad \times 3 ) \times 100 = \quad \text{点}$

- 備考**
- 1 各評価対象項目は、A(良好)、B(普通)及びC(不良)の3段階評価とし、A、B及びCのいずれかを選択する。
  - 2 評価対象項目のうち対象工事の内容に合致しないものは、評価せずに空欄とする。
  - 3 細目評価は、100点満点とし次に掲げる算式により算出する。(小数第2位を四捨五入)  
 $(A \text{ 評価項目数} \times 3 \text{ 点} + B \text{ 評価項目数} \times 2 \text{ 点} + C \text{ 評価項目数} \times 1 \text{ 点}) / (\text{評価した項目数} \times 3) \times 100$
  - 4 評価対象項目を追加することが妥当である工事は、項目を追加する。

# 検査員工事成績項目別評定表（土木）

工種：鋼橋

第8号様式の21

検査種類	
評定項目	施工管理
細目	評価対象項目
<b>① 施工管理</b>	提出書類は整っている。
	変更及び承諾の処理は、適切に行っている。
	特記仕様書の規定は守られている。
	搬入調書の数量は必要量入っている。
	原寸確認及び材料検査の書類は整理されている。
	材料の品質規格及び員数がミルシートで確認できる。
	社内検査員の氏名・資格・経歴は提出されている。
	施工管理記録が整理されている。
	工事記録写真は、撮影計画のとおり行われ、撮影工種・撮影時期・撮影方法とも適切である。
	施工管理及び記録の整理に創意工夫が見られた。
	( )
<b>細目評価</b>	$( \quad \times 3 + \quad \times 2 + \quad \times 1 ) / ( \quad \times 3 ) \times 100 = \quad \text{点}$
<b>② 品質管理</b>	品質管理記録が整理されている。
	品質管理についての工事記録写真が整理されている。
	仕様書で定められている品質管理が、頻度・種類とも実施されている。
	社内検査に基づく「品質確認書」及び「検査表」は提出されている。
	溶接施工の作業規定は守られている。
	溶接工の資格及び勤務実績は確認されている。
	グループ溶接、主桁のすみ肉溶接部にエンドタブを使用している。
	放射線透過試験は、有資格者により方法・回数とも適切に実施されている。
	放射線透過試験の結果は、判定基準を満足している。
	超音波探傷試験は、有資格者により方法・回数とも実施されている。
	超音波探傷試験の結果は、判定基準を満足している。
	浸透探傷試験等、他の試験は行われ、判定基準を満足している。
	アークスタッドの外観検査は、実施されている。
	アークスタッドの抜き取り曲げ試験の結果は、判定基準を満足している。
	ボルトの締付管理が規定通り実施され、必要な試験が行われている。
工事記録写真で、施工過程が確認できる。	
品質管理及び記録の整理に創意工夫が見られた。	
( )	
<b>細目評価</b>	$( \quad \times 3 + \quad \times 2 + \quad \times 1 ) / ( \quad \times 3 ) \times 100 = \quad \text{点}$

# 検査員工事成績項目別評定表（土木）

工種：鋼橋

第8号様式の21

検査種類		
評定項目	施工管理	
細目	評価対象項目	
<b>③ 出来形</b>	出来高数量は、契約数量を満たしている。	
	出来高数量の算出根拠は、整理されている。	
	出来形の管理は、測定項目・測定頻度とも仕様書の規定を満足している。	
	出来形管理の資料は整理されている。	
	部材加工寸法の計測値は規格値内である。	
	組立て寸法の計測値は規格値内である。	
	現地立会計測の結果は、管理資料の数値と整合している。	
	自社の管理基準を設定し、管理を行っている。	
	出来形測定の見えにくい部分は、工事記録写真により確認できる。	
	出来形に関し創意工夫及び熱意が見られた。	
( )		
<b>細目評価</b>	$\left( \quad \times 3 + \quad \times 2 + \quad \times 1 \right) \div \left( \quad \times 3 \right) \times 100 = \quad \text{点}$	
<b>④ 出来ばえ</b>	部材表面に傷・さび等がない。	
	溶接面に均一性がある。	
	すみ肉溶接の隅角部は、まわし溶接が行われている。	
	溶接表面に「われ」がない。	
	グループ溶接の余盛不足、及び仕上げ規格値を外れるものはない。	
	ビード表面にピットがない。	
	ビード面の凹凸は3mm以内である。	
	アンダーカットの深さは、許容値以内である。	
	ビードのオーバーラップはない。	
	すみ肉溶接のサイズ、及びのど厚は設計値を満たしている。	
糸面取りの忘れ、面取り部のまくれはない。		
ボルト孔部のまくれは、削り取り加工されている。		
表面欠陥の手直しは、丁寧に行われていた。		
目視できない部分は、工事記録写真で確認できる。		
出来ばえに関し、創意工夫及び熱意が見られた。		
( )		
<b>細目評価</b>	$\left( \quad \times 3 + \quad \times 2 + \quad \times 1 \right) \div \left( \quad \times 3 \right) \times 100 = \quad \text{点}$	

- 備考**
- 1 各評価対象項目は、A(良好)、B(普通)及びC(不良)の3段階評価とし、A、B及びCのいずれかを選択する。
  - 2 評価対象項目のうち対象工事の内容に合致しないものは、評価せずに空欄とする。
  - 3 細目評価は、100点満点とし次に掲げる算式により算出する。(小数第2位を四捨五入)  

$$\left( A \text{評価項目数} \times 3 \text{点} + B \text{評価項目数} \times 2 \text{点} + C \text{評価項目数} \times 1 \text{点} \right) \div \left( \text{評価した項目数} \times 3 \right) \times 100$$
  - 4 評価対象項目を追加することが妥当である工事は、項目を追加する。



## 検査員工事成績項目別評定表（土木）

工種：PC橋

第8号様式の22

検査種類		
評定項目	施工管理	
細目	評価対象項目	
① 施工管理	提出書類は整っている。	
	変更及び承諾の処理は、適切に行っている。	
	特記仕様書の規定は守られている。	
	搬入調書の数量は必要量入っている。	
	施工管理記録が整理されている。	
	工事記録写真は、撮影計画のとおり行われ、撮影工種・撮影時期・撮影方法とも適切である。	
	工事記録写真により、各工種の施工過程が確認できる。	
	現場代理人・主任技術者・監理技術者は、契約内容を理解している。	
	施工管理及び記録の整理に創意工夫が見られた。	
	( )	
細目評価	$( \quad \times 3 + \quad \times 2 + \quad \times 1 ) \div ( \quad \times 3 ) \times 100 = \quad \text{点}$	
② 品質管理	品質管理記録が整理されている。	
	品質管理についての工事記録写真が整理されている。	
	品質試験結果は整理されている。	
	品質試験の結果は、規格値を満たしている。	
	材料の品質規格証明書が整備されている。	
	コンクリートの配合は承諾され、試験練りの結果は基準値を満たしている。	
	施工管理記録等(緊張方法・養生法・気温・レミコン管理・緊張管理・グラウト管理)は、良く整理されている。	
	型枠、中空型枠の寸法及び位置は、図面どおり配置されている。	
	鉄筋・PC鋼材の本数、配筋間隔、配置位置、被り等が、図面どおりに施工されている。	
	ボンドレス区間の長さ及び構造が、図面どおりに施工されている。	
	緊張装置のキャリブレーションは、行われている。	
	PC鋼材の緊張力及び伸び量は規定値以内に納まり、その関係は直線となっている。	
	緊張時のコンクリート強度は、同一製作条件・養生で所定の強度であることが確認されている。	
載荷試験は、400本当たり2本行われ、荷重と変位の関係が整理されている。		
品質管理及び記録の整理に創意工夫が見られた。		
( )		
細目評価	$( \quad \times 3 + \quad \times 2 + \quad \times 1 ) \div ( \quad \times 3 ) \times 100 = \quad \text{点}$	



## 検査員工事成績項目別評定表（土木）

工種：トンネル（NATM）

第8号様式の23

検査種類		
評定項目	施工管理	
細目	評価	対象項目
<b>① 施工管理</b>		提出書類は整っている。
		変更及び承諾の処理は、適切に行っている。
		特記仕様書の規定は守られている。
		搬入調書の数量は必要量入っている。
		施工管理記録が整理されている。
		施工管理の工事記録写真が整理されている。
		坑内観察調査、内空変位測定、天端及び地表沈下測定の計測記録が適切に作成されている。
		岩区分の境界を確認し、資料を適切に整備、保管している。
		覆工開始の判定要項を施工計画書に記載し、判定資料を整備保管している。
		施工管理及び記録の整理に創意工夫が見られた。
		( )
		<b>細目評価</b>
<b>② 品質管理</b>		品質管理記録が整理されている。
		品質管理についての工事記録写真が整理されている。
		使用材料(吹付けコンクリート・ロックボルト・鋼製支保工・金網工・コンクリート等)は、設計図書及び規格通りである。
		支保パターンや工法は、設計図書通り施工されている。
		吹き付けコンクリートは、40m毎及び断面変化点に7箇所の検査孔により厚さの確認をしている。
		吹き付けコンクリートは、浮石等除去後、すみやかに一層厚15cm以下で地山に密接するよう施工されている。
		ロックボルトは、吹付け完了後、すみやかに掘進サイクル毎に削孔し、くり粉が残らぬよう清掃し挿入している。
		ロックボルト工の定着材料(ドライテル外)、定着方式(全面接着方式)等は設計図書及び承諾通り施工している。
		金網工は、吹付けにより移動しないよう固定されており、継目は15cm以上重ねているか。
		コンクリートの打継目は、レイタンス等除去するため十分清掃し、新旧コンクリートの密着を図っている。
		コンクリートが必要な強度に達してから型枠をはずしている。
		逆巻の場合、側壁とアーチコンクリートの打継目は同一線上に設けていない。
		止水シートは、破れないよう突起物にモルタルや保護マット等で防護している。
		止水シートは、ピン等で適切に固定されており、接合面は漏水のないよう接合されている。
		品質管理及び記録の整理に創意工夫が見られた。
	( )	
	<b>細目評価</b>	$( \quad \times 3 + \quad \times 2 + \quad \times 1 ) / ( \quad \times 3 ) \times 100 = \quad \text{点}$

# 検査員工事成績項目別評定表（土木）

工種：トンネル（NATM）

第8号様式の23

検査種類	
評定項目	施工管理
細目	評価対象項目
<b>③ 出来形</b>	契約内容に対応した出来高数量がある。
	出来高及び出来形管理は、測定項目・測定頻度とも仕様書の規定を満足している。
	出来高及び出来形管理の資料は、分かり易く整理されている。
	坑口付近に中心線及び施工面の基準となる基準点が確認できる。
	設計断面が確保されている。
	吹き付けコンクリートの厚さは設計以上ある。(突出部は覆工厚の1/3以内で変形が収束したもの)
	ロックボルト工の定着長は、設計通り施工されている。
	鋼製支保工の数量は、設計図書を満たしている。
	覆工コンクリートの厚さは設計厚を確保している。
	側壁コンクリートの出来形は設計通りである。
	インパットコンクリートの出来形は設計通りである。
	坑内付帯工(箱抜工、裏面排水工、地下排水工等)は、設計(承諾)通り施工されている。
	坑門工(坑口付工、土工、坑門本体工、明り巻工、銘板工等)は、設計(承諾)通り施工されている。
	掘削補助工は、設計(承諾)通り施工されている。
	設計覆工厚の刻示は、起終点及び覆工厚の変化箇所に基準通り設置している。
	出来形測定の不可視部分は、工事記録写真により確認できる。
	現地立会計測の結果は、管理資料の数値と小差で整合している。
	出来形に関し創意工夫及び熱意が見られた。 ( )
<b>細目評価</b> (    × 3 +    × 2 +    × 1 ) / (    × 3 ) × 100 =    点	
<b>④ 出来ばえ</b>	吹き付けコンクリートは、仕上がり面が平滑で、支保工と一体になるよう吹き付けられており、背面に空隙はない。
	吹き付け表面に漏水等がない。
	厚さ確認孔の埋戻しは丁寧に行われている。
	ロックボルト定着後、ベアリングプレートが面に密着するようナットで緊結している。プレストレスの場合は、設計通り軸力が導入されている。
	覆工コンクリートは、適切に表面仕上げされている。
	側壁コンクリート・インパットは、適切に表面仕上げされている。
	床版コンクリートは、適切に表面仕上げされている。
	坑門工・坑内付帯工は、適切に仕上げられている。
	全体的な仕上がり・外観、おさまり具合は良好である。
	目視できない部分は、工事記録写真で確認できる。
	出来ばえに関し、創意工夫及び熱意が見られた。 ( )
	<b>細目評価</b> (    × 3 +    × 2 +    × 1 ) / (    × 3 ) × 100 =    点

- 備考**
- 1 各評価対象項目は、A(良好)、B(普通)及びC(不良)の3段階評価とし、A、B及びCのいずれかを選択する。
  - 2 評価対象項目のうち対象工事の内容に合致しないものは、評価せずに空欄とする。
  - 3 細目評価は、100点満点とし次に掲げる算式により算出する。(小数第2位を四捨五入)  
(A評価項目数×3点+B評価項目数×2点+C評価項目数×1点) / (評価した項目数×3) × 100
  - 4 評価対象項目を追加することが妥当である工事は、項目を追加する。

# 検査員工事成績項目別評定表（土木）

工種：トンネル（矢板）

第8号様式の24

検査種類		
評定項目	施工管理	
細目	評価	対象項目
<b>① 施工管理</b>		提出書類は整っている。
		変更及び承諾の処理は、適切に行っている。
		特記仕様書の規定は守られている。
		搬入調書の数量は必要量入っている。
		施工管理記録が整理されている。
		施工管理の工事記録写真が整理されている。
		岩区分の境界を確認し、資料を適切に整備、保管している。
		覆工開始の判定要項を施工計画書に記載し、判定資料を整備保管している。
		裏注入工の注入材料、注入時期、注入圧力、終了時期等は、承諾を得ている。
		施工管理及び記録の整理に創意工夫が見られた。
	( )	
	<b>細目評価</b>	$( \quad \times 3 + \quad \times 2 + \quad \times 1 ) / ( \quad \times 3 ) \times 100 = \quad \text{点}$
<b>② 品質管理</b>		品質管理記録が整理されている。
		品質管理についての工事記録写真が整理されている。
		掘削進行に従い、あらかじめ定めた測点を坑外の基準点から適切に検測している。
		使用材料（鋼製支保工・コンクリート・裏込め材等）は、設計図書及び規格通りである。
		支保パターンや工法は、設計図書通り施工されている。
		鋼製支保工の間隔は、設計通り施工されており、適切に地山を支持するよう建て込んでいる。
		余掘部分が大きい場合には、コンクリートまたは良質の岩石を用いて空隙を充填している。
		コンクリートの打継目は、レイタンス等除去するため十分清掃し、新旧コンクリートの密着を図っている。
		コンクリートが必要な強度に達してから型枠をはずしている。
		逆巻の場合、側壁とアーチコンクリートの打継目は同一線上に設けていない。
	設計巻厚線の内側に木材を入れていない。	
	逆巻きアーチコンクリート支承面に、不陸のないよう細かいずりを敷均したうえ、敷板を施している。	
	裏込注入工は、縦断勾配の低い側より高い方へ、横断面は下部から上部へ施工している。	
	品質管理及び記録の整理に創意工夫が見られた。	
	( )	
	<b>細目評価</b>	$( \quad \times 3 + \quad \times 2 + \quad \times 1 ) / ( \quad \times 3 ) \times 100 = \quad \text{点}$

## 検査員工事成績項目別評定表（土木）

工種：トンネル（矢板）

第8号様式の24

検査種類		
評定項目	施工管理	
細目	評価	対象項目
<b>③ 出来形</b>		契約内容に対応した出来高数量がある。
		出来高及び出来形管理は、測定項目・測定頻度とも仕様書の規定を満足している。
		出来高及び出来形管理の資料は、分かり易く整理されている。
		坑口付近に中心線及び施工面の基準となる基準点が確認できる。
		設計断面が確保されている。
		鋼製支保工の数量は、設計図書を満たしている。
		アーチコンクリートの厚さは規格値以上ある。
		側壁コンクリートの出来形は設計通り施工されている。
		床版コンクリートの出来形は設計通り施工されている。
		坑内付帯工（箱拔工、裏面排水工、地下排水工等）は、設計（承諾）通り施工されている。
		坑門工（坑口付工、土工、坑門本体内工、明り巻工、銘板工等）は、設計（承諾）通り施工されている。
		設計覆工厚の刻示は、起終点及び覆工厚の変化箇所に基準通り設置している。
		出来形測定の見えない部分は、工事記録写真により確認できる。
		現地立会計測の結果は、管理資料の数値と小差で整合している。
		出来形に関し創意工夫及び熱意が見られた。
		( _____ )
		<b>細目評価</b> ( _____ × 3 + _____ × 2 + _____ × 1) / ( _____ × 3) × 100 = _____ 点
<b>④ 出来ばえ</b>		支保工、矢板の仕上げは、地山との間にくさび等挿入し適切に施工されている。
		仕上げ表面に漏水等がない。
		アーチコンクリートは、適切に表面仕上げされている。
		側壁コンクリートは、適切に表面仕上げされている。
		床版コンクリートは、適切に表面仕上げされている。
		インバート本体内工は、適切に表面仕上げされている。
		裏込めの注入孔は丁寧に仕上げられている。
		坑内付帯工は、適切に仕上げられている。
		坑門工は、適切に仕上げられている。
		全体的な仕上がり・外観、おさまり具合は良好である。
		目視できない部分は、工事記録写真で確認できる。
		出来ばえに関し、創意工夫及び熱意が見られた。
	( _____ )	
	<b>細目評価</b> ( _____ × 3 + _____ × 2 + _____ × 1) / ( _____ × 3) × 100 = _____ 点	

- 備考**
- 各評価対象項目は、A(良好)、B(普通)及びC(不良)の3段階評価とし、A、B及びCのいずれかを選択する。
  - 評価対象項目のうち対象工事の内容に合致しないものは、評価せずに空欄とする。
  - 細目評価は、100点満点とし次に掲げる算式により算出する。(小数第2位を四捨五入)  

$$(A \text{ 評価項目数} \times 3 \text{ 点} + B \text{ 評価項目数} \times 2 \text{ 点} + C \text{ 評価項目数} \times 1 \text{ 点}) / (\text{評価した項目数} \times 3) \times 100$$
  - 評価対象項目を追加することが妥当である工事は、項目を追加する。



# 検査員工事成績項目別評定表（土木）

工種：落橋防止

第8号様式の25

検査種類		
評定項目	施工管理	
細目	評価対象項目	
<b>① 施工管理</b>	提出書類は整っている。	
	変更及び承諾の処理は、適切に行っている。	
	特記仕様書の規定は守られている。	
	搬入調書の数量は必要量入っている。	
	施工管理記録が整理されている。	
	工事記録写真は、撮影計画のとおり行われ、撮影工種・撮影時期・撮影方法とも適切である。	
	工事記録写真により、各工種の施工過程が確認できる。	
	施工方法及び材料は監督員の承諾を受け整理されている。	
	現場代理人・主任技術者・監理技術者は、契約内容を理解している。	
	施工管理及び記録の整理に創意工夫が見られた。	
( )		
<b>細目評価</b>	$\left( \quad \times 3 + \quad \times 2 + \quad \times 1 \right) \div \left( \quad \times 3 \right) \times 100 = \quad \text{点}$	
<b>② 品質管理</b>	品質管理記録が整理されている。	
	品質管理についての工事記録写真が整理されている。	
	工法及び使用材料は、監督員の承諾を受け、整理されている。	
	材料の品質規格及び数量は、材料検査書類で確認出来る。	
	品質試験は、頻度・項目共実施されており、結果は整理されている。	
	品質試験の結果は規格値を満たしている。	
	工場塗装の塗装記録が整理されており、湿度・塗り間隔等が確認できる。	
	当て傷等の塗装欠陥は、補修されている。	
	現場塗装の塗装記録が整理されており、湿度・塗り間隔等が確認できる。	
	現場溶接の監理は、示方書の規定どおりに行われている。	
	溶接継手の試験(RT・UT・PT)が行われ、結果は全て判定基準を満たしている。	
	接合ボルトの締付管理が示方書どおり行われ、必要な試験が行われている。	
	コンクリート面の処理は、契約書どおり行われている。	
	コンクリート削孔の径・削孔長は確認できる。	
	アンカーの引張り試験は、規定どおり行われ、結果は判定基準を満たしている。	
	注入材料の品質管理及び施工条件の管理が、行われている。	
	アンカー削孔時に、既設鉄筋の切断をしていないことが確認できる。	
	工事記録写真で、施工過程が確認できる。	
品質管理及び記録の整理に創意工夫が見られた。		
( )		
<b>細目評価</b>	$\left( \quad \times 3 + \quad \times 2 + \quad \times 1 \right) \div \left( \quad \times 3 \right) \times 100 = \quad \text{点}$	

# 検査員工事成績項目別評定表（土木）

工種：落橋防止

第8号様式の25

検査種類	
評定項目	施工管理
細目	評価対象項目
<b>③ 出来形</b>	出来高数量は、契約数量を満たしている。
	出来高数量の算出根拠は、整理されている。
	出来形の管理は、測定項目・測定頻度とも仕様書の規定を満足している。
	出来形管理の資料は整理されている。
	工事・現場塗装の膜厚測定値は、規格値内である。
	塗装面積は、塗装種別ごとに区分けされており、計測値は契約数量を満たしている。
	現場溶接の計測値は、規格値を満たしている。
	落橋防止ケーブルの設置は図面どおり行われ、支間・遊間等の計測値は規格値内である。
	支承は、固定・可動とも正規の箇所に設置され、遊間値は温度管理されている。
	支承の位置・水平度等の計測値は、規格値を満たしている。
	変位制限装置の固定・可動とも正規の箇所に設置されている。
	変位制限装置の遊間等の計測値は、規格値を満たしている。
	コンクリート構造物の出来形計測値は、規格値内である。
	現地立会計測の結果は、管理資料の数値と整合している。
	自社の管理基準を設定し、管理を行っている。
出来形測定の不可視部分は、工事記録写真により確認できる。	
出来形に関し創意工夫及び熱意が見られた。	
( )	
<b>細目評価</b>	(    × 3 +    × 2 +    × 1 ) / (    × 3 ) × 100 =    点
<b>④ 出来ばえ</b>	塗装面にピンホール・傷・タレ・しわ・ごみ巻き込み等の欠陥がない。
	塗装の塗り忘れが無く、端部のすりつけも良好である。
	継手部の現場塗装は、丁寧に仕上げられている。
	溶接背面の塗装は、必要に応じて手直しされている。
	溶接面には欠陥がなく、丁寧に仕上げられている。
	コンクリート面には、ジャンカ・ひびわれ・コールドジョイント等の欠陥がなく、丁寧に仕上げられている。
	コンクリート面は平滑で良く締固められている。
	既設構造物へのすりつけは、丁寧に仕上げられている。
	塗装・溶接・コンクリート面の欠陥の手直しは、丁寧に行われている。
	出来ばえに関し、創意工夫及び熱意が見られた。
( )	
<b>細目評価</b>	(    × 3 +    × 2 +    × 1 ) / (    × 3 ) × 100 =    点

- 備考**
- 1 各評価対象項目は、A(良好)、B(普通)及びC(不良)の3段階評価とし、A、B及びCのいずれかを選択する。
  - 2 評価対象項目のうち対象工事の内容に合致しないものは、評価せずに空欄とする。
  - 3 細目評価は、100点満点とし次に掲げる算式により算出する。(小数第2位を四捨五入)  

$$(A\text{評価項目数} \times 3\text{点} + B\text{評価項目数} \times 2\text{点} + C\text{評価項目数} \times 1\text{点}) / (\text{評価した項目数} \times 3) \times 100$$
  - 4 評価対象項目を追加することが妥当である工事は、項目を追加する。

# 検査員工事成績項目別評定表（土木）

工種：光ファイバーケーブル

第8号様式の26

検査種類	
評定項目	施工管理
細目	評価対象項目
<b>① 施工管理</b>	提出書類は整っている。
	変更及び承諾の処理は、適切に行っている。
	特記仕様書の規定は守られている。
	搬入調書の数量は必要量入っている。
	施工管理記録が整理されている。
	工事記録写真は、撮影計画のとおり行われ、撮影工種・撮影時期・撮影方法とも適切である。
	工事記録写真により、各工種の施工過程が確認できる。
	施工方法及び材料は監督員の承諾を受け整理されている。
	現場代理人・主任技術者・監理技術者は、契約内容を理解している。
	施工管理及び記録の整理に創意工夫が見られた。
( )	
<b>細目評価</b>	$( \quad \times 3 + \quad \times 2 + \quad \times 1 ) / ( \quad \times 3 ) \times 100 = \quad \text{点}$
<b>② 品質管理</b>	品質管理記録が整理されている。
	材料の品質規格証明書(ミルシート・検査証明書)は、整理されている。
	品質試験は、頻度・項目共必要数実施されており、結果は規格値を満たし整理されている。
	関連示方書の施工規程は、守られている。
	施工規程の管理について記録又は写真が整理されている。
	使用機器のキャリブレーション(目盛調整)は、行われている。
	品質管理についての工事記録写真が整理されている。
	光ファイバーケーブルの伝送性能試験(光損失・光パルス試験)を実施し、結果は施工規格値を満たしている。
	光ファイバーケーブル敷設時の張力は、規格値以下で施工されている。
	光ファイバーケーブルの廃材処理は、必要な書類が提出され、マニフェストで管理されている。
品質管理及び記録の整理に創意工夫が見られた。	
( )	
<b>細目評価</b>	$( \quad \times 3 + \quad \times 2 + \quad \times 1 ) / ( \quad \times 3 ) \times 100 = \quad \text{点}$
<b>③ 出来形</b>	出来高数量は、契約数量を満たしている。
	出来高数量の算出根拠は、整理されている。
	出来形の管理は、測定項目・測定頻度とも仕様書の規定を満足している。
	出来形管理の資料は整理されている。
	現地立会計測の結果は、管理資料の数値と整合している。
	自社の管理基準を設定し、管理をおこなっている。
	出来形についての工事記録写真が整理されている。
	出来形管理表の数値は、全て規格値を満足している。
	完了図は、現地の施工高・ケーブル長などと一致している。
	光ファイバーケーブル敷設時に伴う明示板・銘板・標示杭が設置されている。
出来形に関し創意工夫及び熱意が見られた。	
( )	
<b>細目評価</b>	$( \quad \times 3 + \quad \times 2 + \quad \times 1 ) / ( \quad \times 3 ) \times 100 = \quad \text{点}$
<b>④ 出来ばえ</b>	全体的な仕上がり・外観・おさまり具合は良好である。
	光ファイバーケーブルの仕上げは、仕様書の規程どおりに行われている。
	光ファイバーケーブルと既設構造物との、取付け・すり合わせは良好である。
	光ファイバーケーブルの手直しは、丁寧に行われている。
	光ファイバーケーブルと下水道管路・人孔駆体は、しっかりとアンカーやサドルで固定されている。
	ボルト穴は、全て埋めてある。
	出来ばえに関し、創意工夫及び熱意が見られた。
( )	
<b>細目評価</b>	$( \quad \times 3 + \quad \times 2 + \quad \times 1 ) / ( \quad \times 3 ) \times 100 = \quad \text{点}$

- 備考**
- 1 各評価対象項目は、A(良好)、B(普通)及びC(不良)の3段階評価とし、A、B及びCのいずれかを選択する。
  - 2 評価対象項目のうち対象工事の内容に合致しないものは、評価せずに空欄とする。
  - 3 細目評価は、100点満点とし次に掲げる算式により算出する。(小数第2位を四捨五入)  
 $(A \text{ 評価項目数} \times 3 \text{ 点} + B \text{ 評価項目数} \times 2 \text{ 点} + C \text{ 評価項目数} \times 1 \text{ 点}) / (\text{評価した項目数} \times 3) \times 100$
  - 4 評価対象項目を追加することが妥当である工事は、項目を追加する。